

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

## 日本国特許庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

06.11.00

REC'D 22 DEC 2000

WIPO

PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

1999年11月12日

出願番号

Application Number:

平成11年特許願第323395号

出願人

Applicant(s):

株式会社ビートゥーシー・インタフェイス

JP00/6072

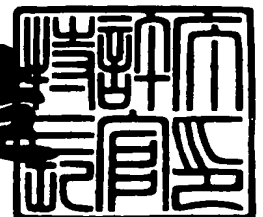
EKV

PRIORITY  
DOCUMENTSUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2000年12月 8日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3101474

【書類名】 特許願  
 【整理番号】 MN-0032  
 【提出日】 平成11年11月12日  
 【あて先】 特許庁長官 殿  
 【国際特許分類】 H04L 29/00

【発明者】  
 【住所又は居所】 東京都港区麻布十番1丁目7番3号 株式会社ビートゥーシー・インタフェイス内

【氏名】 山下 哲矢

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都港区麻布十番1丁目7番3号  
 【氏名又は名称】 株式会社ビートゥーシー・インタフェイス

【代理人】

【識別番号】 100104156  
 【弁理士】  
 【氏名又は名称】 龍華 明裕  
 【電話番号】 (03)5366-7377

【選任した代理人】

【識別番号】 100105924  
 【弁理士】  
 【氏名又は名称】 森下 賢樹  
 【電話番号】 (03)5366-7377

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 053394  
 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1  
 【物件名】 図面 1  
 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】

要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 スケジュール通信方法、装置およびシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと

前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、

前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項2】 前記スケジュールを受信するステップ、前記広告を受信するステップの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に実施される請求項Aに記載の方法。

【請求項3】 前記ユーザーを個人として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項1、2のいずれかに記載の方法。

【請求項4】 前記ユーザーをグループの一員として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項1から3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】 前記ネットワークを介して前記ユーザーが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項1から4のいずれかに記載の方法。

【請求項6】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で送信される請求項5に記載の方法。

【請求項7】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項6に記載の方法。

【請求項8】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介して

アクセスするステップをさらに含む請求項 1 から 7 に記載の方法。

【請求項 9】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記広告が選択される請求項 8、9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記広告が選択される請求項 8 から 10 のいずれかに記載の方法。

【請求項 12】 前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップをさらに含む請求項 2 から 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 13】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に構成される請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】 前記ネットワークを介して前記ユーザーが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 13 から 15 のいずれかに記載の方法。

【請求項 17】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 16 に記載の方法。

【請求項 19】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 13 から 18 のいずれかに記載の方法。

【請求項 20】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する応答を送信するステップをさらに含む請求項 12 から 20 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 2】 前記告知するステップは、前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示の中に、前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示の中に、前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に、それぞれ前記広告を組み込む請求項 1 から 2 1 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 3】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求項 1 から 2 2 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 4】 前記登録するステップ、前記スケジュールを受信するスケジュールの少なくとも一方の実施に伴い、前記広告を受信するステップが実施される請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 5】 前記告知するステップは、音声による通知のステップを含む請求項 1 から 2 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 6】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと

前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、

前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 2 7】 前記スケジュールを受信するステップ、前記求人情報を受信するステップの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的実施される請求項 2 6 に記載の方法。

【請求項 2 8】 前記ユーザーを個人として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項 2 6、2 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 9】 前記ユーザーをグループの一員として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項 2 6 から 2 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 3 0】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に



構成される請求項 2 6 から 2 9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 3 1】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 3 0 に記載の方法。

【請求項 3 2】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 3 1 に記載の方法。

【請求項 3 3】 前記ネットワークを介して前記ユーザーが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 3 0 から 3 2 のいずれかに記載の方法。

【請求項 3 4】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 3 3 に記載の方法。

【請求項 3 5】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 3 3 に記載の方法。

【請求項 3 6】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で送信される請求項 3 3 から 3 5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 3 7】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項 3 6 に記載の方法。

【請求項 3 8】 前記求人情報の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 2 6 から 3 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 3 9】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 3 8 に記載の方法。

【請求項 4 0】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 3 8、3 9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 4 1】 当該方法は前記ネットワークを介して広告を受信するステップをさらに含み、

前記判定するステップはさらに、前記広告の目的時刻を判定し、

前記告知するステップはさらに、前記スケジュールと前記広告を前記目的時刻

によって関連づけて前記ユーザーに告知する請求項 2 6 から 3 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 4 2】 前記広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 4 1 に記載の方法。

【請求項 4 3】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 4 2 に記載の方法。

【請求項 4 4】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 4 2、4 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 4 5】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する応答を送信するステップをさらに含む請求項 2 6 から 4 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 4 6】 前記告知するステップは、前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示と、前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示と、前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示と、それぞれ前記求人情報を関連づける請求項 2 6 から 4 5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 4 7】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求項 2 6 から 4 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 4 8】 前記登録するステップ、前記スケジュールを受信するスケジュールの少なくとも一方の実施に伴い、前記求人情報を受信するステップが実施される請求項 4 7 に記載の方法。

【請求項 4 9】 前記告知するステップは、音声による通知のステップを含む請求項 2 6 から 4 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5 0】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザーに前記スケジュールを送信するステップと

、  
前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するステップと、

前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目

的時刻を付加して前記ユーザーに送信するステップと、  
を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 51】 前記ユーザーを個人として認証するステップをさらに含む請求項 50 に記載の方法。

【請求項 52】 前記ユーザーをグループの一員として認証するステップをさらに含む請求項 50、51 のいずれかに記載の方法。

【請求項 53】 前記ユーザーの個人情報を受信するステップをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項 50 から 52 のいずれかに記載の方法。

【請求項 54】 前記ネットワークを介してアンケートを提供するステップと、

前記個人情報をそのアンケートに対する回答の形で受信するステップとをさらに含む請求項 53 に記載の方法。

【請求項 55】 前記アンケートを、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットを与える形で提供する請求項 54 に記載の方法。

【請求項 56】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含む請求項 50 から 55 のいずれかに記載の方法。

【請求項 57】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 56 に記載の方法。

【請求項 58】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記広告が選択される請求項 56、57 のいずれかに記載の方法。

【請求項 59】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記広告が選択される請求項 56 から 58 のいずれかに記載の方法。

【請求項 60】 前記送信された広告の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 50 から 59 のいずれかに記載の方法。

【請求項 61】 前記ネットワークを介して求人情報を送信するステップをさらに含む請求項 50 から 52 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6 2】 前記求人情報を送付すべきユーザーを予め選抜するステップをさらに含む請求項 6 1 に記載の方法。

【請求項 6 3】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 6 2 に記載の方法。

【請求項 6 4】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 6 3 に記載の方法。

【請求項 6 5】 前記ネットワークを介して前記ユーザーの個人情報を受信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 6 2 から 6 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6 6】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 6 5 に記載の方法。

【請求項 6 7】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 6 5 に記載の方法。

【請求項 6 8】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 6 2 から 6 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6 9】 前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を受信するステップをさらに含む請求項 6 1 から 6 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 0】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求項 5 0 から 6 9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 1】 前記登録するステップの実施に伴い、前記広告を送信するステップが実施される請求項 7 0 に記載の方法。

【請求項 7 2】 前記送信された求人情報の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 6 1 から 7 1 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 3】 前記選択するステップは、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択することに代えて、前記広告に嗜好が適するユーザーを選択し、

前記選択されたユーザーに前記広告が送信されることを特徴とする請求項 5 0 から 7 2 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 4】 前記選択されたユーザーの数に応じた課金情報を生成する

ステップをさらに含む請求項 73 に記載の方法。

【請求項 75】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザーに前記スケジュールを送信するステップと

前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するステップと、

前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 76】 前記ユーザーを個人として認証するステップをさらに含む請求項 75 に記載の方法。

【請求項 77】 前記ユーザーをグループの一員として認証するステップをさらに含む請求項 75、76 のいずれかに記載の方法。

【請求項 78】 前記求人情報を送信すべきユーザーを予め選抜するステップをさらに含む請求項 75 から 77 のいずれかに記載の方法。

【請求項 79】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 78 に記載の方法。

【請求項 80】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 79 に記載の方法。

【請求項 81】 前記ユーザーの個人情報を受信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 78 から 80 のいずれかに記載の方法。

【請求項 82】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 81 に記載の方法。

【請求項 83】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 81 に記載の方法。

【請求項 84】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で送信される請求項 81 から 83 のいずれかに記載の方法。

【請求項 85】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項 84 に記載の方法。

【請求項 86】 前記求人情報の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 78 から 85 のいずれかに記載の方法。

【請求項 87】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 86 に記載の方法。

【請求項 88】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 86、87 のいずれかに記載の方法。

【請求項 89】 前記送信された求人情報の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 75 から 88 のいずれかに記載の方法。

【請求項 90】 前記スケジュールと関連づけられるべき広告を取得するステップをさらに含み、

前記求人情報を送信するステップはさらに、前記ネットワークを介して前記広告を送信する請求項 75 から 88 のいずれかに記載の方法。

【請求項 91】 前記広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 90 の記載の方法。

【請求項 92】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 91 に記載の方法。

【請求項 93】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 91、92 のいずれかに記載の方法。

【請求項 94】 前記送信された広告の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 90 から 93 のいずれかに記載の方法。

【請求項 95】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を取得するステップをさらに含む請求項 75 から 93 のいずれかに記載の方法。

【請求項 96】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに

含む請求項 7 5 から 9 5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9 7】 前記登録するステップの実施に伴い、前記求人情報を送信するステップが実施される請求項 9 6 に記載の方法。

【請求項 9 8】 サーバとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記サーバが前記ユーザーにスケジュールを送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールを受信するステップと、

前記サーバが前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するステップと、

前記サーバが前記選択した広告を前記ユーザーに送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 9 9】 サーバとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記サーバが前記ユーザーにスケジュールを送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールを受信するステップと、

前記サーバが前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するステップと、

前記サーバが前記選択した求人情報を前記ユーザーに送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記求人情報を受信するステップと、

前記ユーザー側にて前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 1 0 0】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと

前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広

告を取得するユニットと、

前記広告の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項１０１】 前記スケジュールを取得するユニット、前記広告を取得するユニットの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に取得処理を行う請求項１００に記載の装置。

【請求項１０２】 前記ユーザーを個人として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項１００、１０１のいずれかに記載の装置。

【請求項１０３】 前記ユーザーをグループの一員として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項１００から１０２のいずれかに記載の装置。

【請求項１０４】 前記ユーザーが個人情報を入力するユニットをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項１００から１０３のいずれかに記載の装置。

【請求項１０５】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で入力される請求項１０４に記載の装置。

【請求項１０６】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項１０５に記載の装置。

【請求項１０７】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含む請求項１００から１０６のいずれかに記載の装置。

【請求項１０８】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項１０７に記載の装置。

【請求項１０９】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記広告が選択される請求項１０７、１０８のいずれかに記載の装置。

【請求項１１０】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記広告が選択さ



れる請求項 107 から 109 のいずれかに記載の装置。

【請求項 111】 前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットをさらに含む請求項 101 から 103 のいずれかに記載の装置。

【請求項 112】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に構成される請求項 111 に記載の装置。

【請求項 113】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 112 に記載の装置。

【請求項 114】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 113 に記載の装置。

【請求項 115】 前記ユーザーが個人情報を入力するユニットをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 112 から 114 のいずれかに記載の装置。

【請求項 116】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 115 に記載の装置。

【請求項 117】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 115 に記載の装置。

【請求項 118】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 112 から 117 のいずれかに記載の装置。

【請求項 119】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 118 に記載の装置。

【請求項 120】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に応答するユニットをさらに含む請求項 111 から 119 のいずれかに記載の装置。

【請求項 121】 前記告知制御ユニットはカレンダー表示部を含み、このカレンダー表示部は、

前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示の中に前記広告を組み込む月表示部と、

前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示の中に前記広告を組み込む週表示部と、

前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に前記広告を組み込む日表示部と、

を含む請求項 100 から 120 のいずれかに記載の装置。

【請求項 122】 前記ユーザーのスケジュールを登録するユニットをさらに含む請求項 100 から 121 のいずれかに記載の装置。

【請求項 123】 前記スケジュールの登録、前記スケジュールの取得の少なくとも一方を契機に前記広告が受信される請求項 122 に記載の装置。

【請求項 124】 前記告知制御ユニットは、音声通知ユニットを含む請求項 100 から 123 のいずれかに記載の装置。

【請求項 125】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと

前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットと、

前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項 126】 前記スケジュールを取得するユニット、前記求人情報を取得するユニットの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に取得処理を行う請求項 125 に記載の装置。

【請求項 127】 前記ユーザーを個人として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項 125、126 のいずれかに記載の装置。

【請求項 128】 前記ユーザーをグループの一員として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項 125 から 127 のいずれかに記載の装置。

【請求項 129】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に構成される請求項 125 から 128 のいずれかに記載の装置。

【請求項 130】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合する

ユーザーが選抜される請求項 129 に記載の装置。

【請求項 131】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 130 に記載の装置。

【請求項 132】 前記ネットワークを介して前記ユーザーが個人情報を入力するユニットをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 129 から 131 のいずれかに記載の装置。

【請求項 133】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 132 に記載の装置。

【請求項 134】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 132 に記載の装置。

【請求項 135】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で入力される請求項 132 から 134 のいずれかに記載の装置。

【請求項 136】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項 135 に記載の装置。

【請求項 137】 前記求人情報の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 125 から 136 のいずれかに記載の装置。

【請求項 138】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 137 に記載の装置。

【請求項 139】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 137、138 のいずれかに記載の装置。

【請求項 140】 当該装置は前記ネットワークを介して広告を取得するユニットをさらに含み、

前記判定するユニットはさらに、前記広告の目的時刻を判定し、

前記告知制御ユニットはさらに、前記スケジュールと前記広告を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知する請求項 125 から XAP のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 1】 前記広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 1 4 0 に記載の装置。

【請求項 1 4 2】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 1 4 1 に記載の装置。

【請求項 1 4 3】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 1 4 1、1 4 2 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 4】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する応答を送信するユニットをさらに含む請求項 1 2 5 から 1 4 3 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 5】 前記告知制御ユニットはカレンダー表示部を含み、このカレンダー表示部は、

前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示の中に前記広告を組み込む月表示部と、

前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示の中に前記広告を組み込む週表示部と、

前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に前記広告を組み込む日表示部と、

を含む請求項 1 2 5 から 1 4 4 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 6】 前記ユーザーのスケジュールを登録するユニットをさらに含む請求項 1 2 5 から 1 4 5 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 7】 前記スケジュールの登録、前記スケジュールの取得の少なくとも一方を契機に前記求人情報が取得される請求項 1 4 6 に記載の装置。

【請求項 1 4 8】 前記告知制御ユニットは、音声通知ユニットを含む請求項 1 2 5 から 1 4 7 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 9】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、

前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択する探索ユニットと、

前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットと、  
を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項 150】 前記ユーザーを個人として認証するユニットをさらに含む請求項 149 に記載の装置。

【請求項 151】 前記ユーザーをグループの一員として認証するユニットをさらに含む請求項 149、150 のいずれかに記載の装置。

【請求項 152】 前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項 149 から 151 のいずれかに記載の装置。

【請求項 153】 前記個人情報を取得するユニットは、  
前記ネットワークを介してアンケートを配信するユニットと、  
前記アンケートに対する回答を受信するユニットと、  
を含む請求項 152 に記載の装置。

【請求項 154】 前記個人情報を取得するユニットは、前記アンケートを、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットを与える形で提供する請求項 153 に記載の装置。

【請求項 155】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスするための処理を行う関連情報指示ユニットをさらに含む請求項 149 から 154 のいずれかに記載の装置。

【請求項 156】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 155 に記載の装置。

【請求項 157】 前記関連情報指示ユニットは、前記アクセスされた関連情報の内容を判定するユニットを有し、

その内容をもとに前記広告が選択される請求項 155、156 のいずれかに記載の装置。

【請求項 158】 前記関連情報指示ユニットは、前記関連情報のアクセス回数を計数するユニットを有し、

その回数をもとに前記広告が選択される請求項155から157のいずれかに記載の装置。

【請求項159】 前記データを生成するユニットはさらに、前記ネットワークを介して求人情報を送信するためのデータを生成する請求項149から151のいずれかに記載の装置。

【請求項160】 前記探索ユニットは、前記求人情報を送付すべきユーザーを選抜する求人条件マッチング判定部を含む請求項159に記載の装置。

【請求項161】 前記求人条件マッチング判定部は、ユーザーのスケジュールと前記求人情報の目的時刻の比較するユーザースケジュール判定部を含む請求項160に記載の装置。

【請求項162】 前記ユーザースケジュール判定部は、前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーを選抜する請求項161に記載の装置。

【請求項163】 前記ネットワークを介して前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、

前記求人条件マッチング判定部は、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーを選抜する請求項160から162のいずれかに記載の装置。

【請求項164】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報に含まれるスキル条件を満たすユーザーを選抜するユーザースキル判定部を含む請求項163に記載の装置。

【請求項165】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報が示すジャンルにその嗜好が適合するユーザーを選抜するユーザー嗜好判定部を含む請求項163に記載の装置。

【請求項166】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をする関連情報指示ユニットをさらに含み、

前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項160から165のいずれかに記載の装置。

【請求項167】 前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を受け付けるユニットをさらに含む請求項159から166のいずれかに記載の装置。

【請求項 168】 前記ユーザーのスケジュール更新の要求を受け付けるユニットをさらに含む請求項 149 から 167 のいずれかに記載の装置。

【請求項 169】 前記スケジュール更新を契機に前記広告が送信される請求項 168 に記載の装置。

【請求項 170】 前記探索ユニットの処理に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求項 149 から 169 のいずれかに記載の装置。

【請求項 171】 前記探索ユニットは、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択することに代えて、前記広告に嗜好が適するユーザーを選択し、

前記選択されたユーザーのために前記データが生成されることを特徴とする請求項 149 から 169 のいずれかに記載の装置。

【請求項 172】 前記探索ユニットによって選択されたユーザーの数に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求項 171 に記載の装置。

【請求項 173】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、

前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択する探索ユニットと、

前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項 174】 前記ユーザーを個人として認証するユニットをさらに含む請求項 173 に記載の装置。

【請求項 175】 前記ユーザーをグループの一員として認証するユニットをさらに含む請求項 173、174 のいずれかに記載の装置。

【請求項 176】 前記探索ユニットは、前記求人情報を送付すべきユーザーを選抜する求人条件マッチング判定部を含む請求項 173 から 175 のいずれかに記載の装置。

【請求項１７７】 前記求人条件マッチング判定部は、ユーザーのスケジュールと前記求人情報の目的時刻の比較するユーザースケジュール判定部を含む請求項１７６に記載の装置。

【請求項１７８】 前記ユーザースケジュール判定部は、前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーを選抜する請求項１７７に記載の装置。

【請求項１７９】 前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項１７６から１７８のいずれかに記載の装置。

【請求項１８０】 前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、

前記求人条件マッチング判定部は、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーを選抜する請求項１７６から１７８のいずれかに記載の装置。

【請求項１８１】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報に含まれるスキル条件を満たすユーザーを選抜するユーザースキル判定部を含む請求項１７９に記載の装置。

【請求項１８２】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報が示すジャンルにその嗜好が適合するユーザーを選抜するユーザー嗜好判定部を含む請求項１７９に記載の装置。

【請求項１８３】 前記個人情報を取得するユニットは、  
前記ネットワークを介してアンケートを配信するユニットと、  
前記アンケートに対する回答を受信するユニットと、  
を含む請求項１７９から１８２のいずれかに記載の装置。

【請求項１８４】 前記個人情報を取得するユニットは、前記アンケートを、それに回答したユーザーに対して前記ネットワークの利用に関連するメリットを与える形で提供する請求項１８３に記載の装置。

【請求項１８５】 前記求人情報の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をする関連情報指示ユニットをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項１７６から１８４のいずれかに記載の装置。



【請求項 186】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 185 に記載の装置。

【請求項 187】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 185、186 のいずれかに記載の装置。

【請求項 188】 当該装置は、前記スケジュールと関連づけられるべき広告を取得するユニットをさらに含み、

前記データを生成するユニットはさらに、前記広告を含むよう前記データを生成する請求項 173 から 187 のいずれかに記載の装置。

【請求項 189】 当該装置は、前記広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスするための処理を行う関連情報指示ユニットをさらに含み、

前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 188 に記載の装置。

【請求項 190】 前記関連情報指示ユニットは、前記アクセスされた関連情報の内容を判定するユニットを有し、

その内容にしたがって前記ユーザーが選抜される請求項 189 に記載の装置。

【請求項 191】 前記関連情報指示ユニットは、前記関連情報のアクセス回数を計数するユニットを有し、

その回数にしたがって前記ユーザーが選抜される請求項 189、190 のいずれかに記載の装置。

【請求項 192】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を取得するユニットをさらに含む請求項 173 から 191 のいずれかに記載の装置。

【請求項 193】 前記ユーザーのスケジュール更新の要求を受け付けるユニットをさらに含む請求項 173 から 192 のいずれかに記載の装置。

【請求項 194】 前記スケジュール更新を契機に前記求人情報が送信される請求項 193 に記載の装置。

【請求項 195】 前記探索ユニットの処理に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求項 173 から 194 のいずれかに記載の装置。

【請求項 196】 サーバ側システムとユーザー側であるクライアントを含

むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムであって、

前記サーバ側システムは、

前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、

前記ユーザーの嗜好に沿って広告を選択するユニットと、

前記選択した広告を前記ユーザーに送信するユニットと、

を含み、

前記クライアントは、

前記スケジュールを受信するユニットと、

前記広告を受信するユニットと、

前記広告の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信システム。

【請求項 197】 前記サーバ側システムは、

前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWWサーバーと、

前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記広告を抽出して前記WWWサーバーに引き渡す広告サーバーと、

を含むことを特徴とする請求項 196 に記載のスケジュール通信システム。

【請求項 198】 サーバとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムであって、

前記サーバ側システムは、

前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、

前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するユニットと、

前記選択した求人情報を前記ユーザーに送信するユニットと、

を含み、

前記クライアントは、

前記スケジュールを受信するユニットと、

前記求人情報を受信するユニットと、

前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信システム。

【請求項 199】 前記サーバ側システムは、

前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバである WWW サーバと、

前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記求人情報を抽出して前記 WWW サーバに引き渡す広告サーバと、

を含むことを特徴とする請求項 198 に記載のスケジュール通信システム。

【請求項 200】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法をコンピュータにて実行可能なプログラムとして記録した媒体であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと

、  
前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、

前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップと、

を含むプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 201】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法をコンピュータにて実行可能なプログラムとして記録した媒体であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと

、  
前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、

前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップと、

を含むプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

【０００１】

### 【発明の属する技術分野】

この発明は、ユーザーのスケジュールを通信する技術に関する。この発明はとくに、ユーザーのスケジュールを送受信する方法、装置、システムに関する。

【０００２】

### 【従来の技術】

フォローマーケティングを前提としたインターネットのコミュニケーションでは、ほとんどの場合情報発信者、すなわち企業側がイニシアティブをとっている。そのため発信者には、常に自己のウェブコンテンツの魅力を高め、ユーザーの継続的なアクセスを獲得する努力が求められる。こうしたビジネスでは、ユーザーの要望を的確に把握し、ユーザーの声を反映すべく、電子メールなどによる最新の情報の配信等をおとしたユーザーとの直接かつ密接な関係構築が重要な鍵である。

【０００３】

### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、いかにユーザーの多様な声を反映させたとしても、結局は最大公約数的な情報を発信するしかできない場合が多い。逆に、少数派を満足させるために些細な情報まで掲示または配信するとすれば、情報過多となって結局はユーザーが敬遠する。インターネットを利用するユーザー端末に対するバナー広告も非常に盛んであるが、不特定多数にランダムな広告を打ってもその効果のほどは疑わしい。

【０００４】

本発明はそうした課題に鑑みてなされたものであり、その目的は、個々のユーザーが望む情報を的確に把握および提供可能なネットワークによるサービス提供技術を提供することにある。

【０００５】

本発明の別の目的は、ユーザーのスケジュールをネットワークで配信するとき、各種付加情報を与えることでユーザーの多様な要望に応える技術を提供するこ

とにある。

【0006】

本発明のさらに別の目的は、企業がネットワークを介して広告を配信する際、効果的な技術を提供することにある。

【0007】

本発明のさらに別の目的は、企業がネットワークを介して求人情報または求人広告を出す際、効果的な技術を提供することにある。

【0008】

この目的は特許請求の範囲における独立項に記載の特徴の組合せにより達成される。また従属項は、本発明の具体的かつ有用な形態を規定する。

【0009】

【課題を解決するための手段】

以上の課題を解決するために、本発明はネットワークを介したユーザーのスケジュール通信技術を基調に構築される。ここで「ネットワーク」は有線、無線を問わず、なんらかのデータのやりとりが可能な伝送手段を含む。「スケジュール」とは、ユーザーの個人的な予定など時間軸をベースに組み立てられる個別情報全般をいう。後述の「広告」とは通常宣伝と理解される営業的なものの他、企業や個人が他人に対してアピールするための情報全般を指す。「求人情報」とは通常求人広告として理解される情報の他、有償と無償とを問わず、広く労働力の提供を求めるための情報をいう。

【0010】

本発明のある態様は、ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法である。この方法はとくにユーザー側、またはクライアント側に適している。この方法は、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、前記広告の目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップとを含む。また、前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップをさらに含んでもよい。この方法によれば、ユーザーが受信した

スケジュールの中に広告を組み込んでユーザーに知らせることができる。

【００１１】

本発明の別の態様もスケジュールの通信方法であり、この方法もユーザー側に適している。この方法は、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップとを含む。この方法によれば、例えばスケジュールの中に求人情報を組み込んでユーザーに知らせることができる。

【００１２】

本発明のさらに別の態様もスケジュール通信方法であり、この方法はとくにホスト側またはサーバー側に適している。この方法は、ネットワークを介してユーザーに前記スケジュールを送信するステップと、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するステップと、前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するステップとを含む。このため、前記ユーザーは、広告がスケジュールに組み込まれた状態でそれを認識することができる。この方法は、前記ネットワークを介して求人情報を送信するステップをさらに含んでもよい。

【００１３】

本発明のさらに別の態様もサーバー側に適したスケジュールの通信方法である。この方法は、前記ネットワークを介してユーザーに前記スケジュールを送信するステップと、前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するステップと、前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するステップとを含む。この方法によれば、例えばユーザーがそのスケジュールに求人情報を組み入れた状態でスケジュールを確認することができる。

【００１４】

本発明のさらに別の態様は、サーバクライアントシステムにおけるスケジュールの通信方法である。この方法は、前記サーバが前記ユーザーにスケジュールを

送信するステップと、前記ユーザー側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバが前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するステップと、前記サーバが前記選択した広告を前記ユーザーに送信するステップと、前記ユーザー側にて前記広告の目的時刻を判定するステップと、前記ユーザー側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップとを含む。

## 【0015】

本発明のさらに別の態様サーバクライアントシステムにおけるスケジュール通信方法であり、前記サーバが前記ユーザーにスケジュールを送信するステップと、前記ユーザー側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバが前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するステップと、前記サーバが前記選択した求人情報を前記ユーザーに送信するステップと、前記ユーザー側にて前記求人情報を受信するステップと、前記ユーザー側にて前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、前記ユーザー側にて前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップとを含む。

## 【0016】

なお、以上の処理を実行するプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体を提供してもよい。そのプログラムはコンピュータによって実行される。

## 【0017】

本発明のさらに別の態様は、ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置である。この装置はユーザー側に適しており、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと、前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広告を取得するユニットと、前記広告の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。この装置によれば、ユーザーはスケジュールに広告が組み込まれた状態で確認することができる。

## 【0018】

本発明のさらに別の態様もスケジュールの通信装置であり、この装置もユーザー側に適している。この装置は、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと、前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットと、前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。この装置によれば、ユーザーはスケジュールに求人情報が組み込まれた状態で確認することができる。

#### 【0019】

本発明のさらに別の態様もユーザー側に適したスケジュールの通信装置である。この装置は、前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択する探索ユニットと、前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットとを含む。

#### 【0020】

本発明のさらに別の態様はサーバー側に適したスケジュールの通信装置である。この装置は、前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択する探索ユニットと、前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットとを含む。

#### 【0021】

本発明のさらに別の態様は、サーバ側システムとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムである。このサーバ側システムは、前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するユニットと、前記選択した広告を前記ユーザーに送信するユニットとを含む。一方、前記クライアントは、前記スケジュールを受信するユニットと、前記広告を受信するユニットと、前記広告の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前



記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。  
また、前記サーバ側システムは、前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWWサーバーと、前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記広告を抽出して前記WWWサーバーに引き渡す広告サーバーとを含んでもよい。この構成によれば、クライアント側、すなわちユーザー側にてそのスケジュールに広告を組み込んだ状態でスケジュールの確認ができる。

#### 【0022】

本発明のさらに別の態様は、同じくスケジュールの通信システムである。このシステムにおいてサーバ側システムは、前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するユニットと、前記選択した求人情報を前記ユーザーに送信するユニットとを含む。一方、前記クライアントは、前記スケジュールを受信するユニットと、前記求人情報を受信するユニットと、前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。この構成によれば、クライアント側、すなわちユーザー側にてそのスケジュールと求人情報を関連づけた状態でスケジュールの確認ができる。

#### 【0023】

なお以上の発明の概要は、本発明に必要なすべての特徴を列挙したものではなく、当然ながら、これらの特徴群のサブコンビネーションもまた発明となりうる。

#### 【0024】

##### 【発明の実施の形態】

以下の実施の形態は、特許請求の範囲に記載された発明を限定するものではなく、また実施の形態の中で説明されている特徴の組合せのすべてが発明の解決手段に必須であるとは限らない。

#### 【0025】

図1は、実施の形態に係るスケジュール通信システムの構成を示す。このシス

テムではサーバ側がユーザのスケジュールを管理している。ユーザは自分のスケジュールを知るためにサーバ側にアクセスする。その際、サーバ側はユーザに適した広告または企業の求人情報をスケジュールに組込可能な形で提供する。

#### 【0026】

スケジュール通信システム 1 0 は、サーバ側システム 3 0 とユーザ側クライアントシステムである P C 1 2 (パーソナルコンピュータ) 1 2、および企業サーバ 5 2 を含む。ただし、クライアントシステムは P C 1 2 である必要はなく、たとえば携帯電話 1 6 その他任意の情報端末であってよい。

#### 【0027】

サーバ側システム 3 0 は主に、ユーザにスケジュールを送信する機能と、ユーザの嗜好に沿う広告を選択する機能と、選択した広告をユーザに送信する機能とを含む。サーバ側システム 3 0 はさらに、ユーザに送信すべき求人広告を選択する機能と、選択した求人情報をユーザに送信する機能を含む。一方クライアントは、送信されたスケジュールを受信する機能と、送信された広告および求人情報を受信する機能と、それら広告や求人情報の目的時刻を判定する機能と、送信されたスケジュールの中に目的時刻に沿って広告を組み込んでユーザに告知する機能と、同じく送信されたスケジュールと送信された求人情報をその目的時刻によって関連づけてユーザに告知する機能とを含む。ここで目的時刻とは、たとえば広告の対象となるイベントの日時や求人情報に含まれる勤務の日時等、広告や求人情報に何らかの関連を有する時刻をいう。

#### 【0028】

クライアントである P C 1 2 は、実施の形態に係るスケジュール通信装置 1 4 を含む。スケジュール通信装置 1 4 は主に P C 1 2 の C P U とメモリにロードされたプログラムによって実現される。ただし、それ以外の任意のハードウェアおよびソフトウェアの組合せによってこの装置を構成することも可能であり、その設計自由度の高さは当業者には容易に理解されるところである。スケジュール通信装置 1 4 をソフトウェアモジュール群として構成する場合、このプログラムをフロッピーディスク 1 8 等の記録媒体によって P C 1 2 へロードすることができる。

## 【0029】

サーバ側システム30は、メインユニット32とユーザ情報データベース40と広告データベース50をもつ。メインユニット32は、クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWWサーバ34とクライアントとの通信の内容に応じてスケジュール、広告および求人情報をユーザ情報データベース40から抽出してWWWサーバ34に引き渡す広告サーバ36を含む。

## 【0030】

広告サーバ36は実施の形態に係るサーバ側のスケジュール通信装置38を内蔵する。ただしサーバ側のスケジュール通信装置38はその一部または全部がWWWサーバ34の側に内蔵されてもよく、その設計の自由度も高い。

## 【0031】

ユーザ情報データベース40はユーザのスケジュールを保持するスケジュールデータベース42とユーザの個人情報を保持する個人情報データベース44を含む。広告データベース50は企業の広告を保持するもので、その広告はたとえば企業サーバ52からメインユニット32を経由して格納される。ただし、広告の格納はオフライン処理で行われてもよい。企業サーバ52は、広告をメインユニット32へ送付するサーバ機能の他、クライアントから広告の詳細情報が問い合わせられたときにアクセスされる企業のホームページとしての機能も有する。

## 【0032】

以上の構成において、サーバとクライアントの通信の主体はユーザのスケジュールであるが、このシステムではそのスケジュールの時間を軸として広告や求人情報がスケジュールの中に組み込まれる形でユーザに告知される。また、あらかじめ広告とユーザのマッチングおよび求人情報とユーザのマッチングが検証され、最も宣伝効果が高いと予想されるユーザに広告が送られ、かつ企業が最も採用したいと思われるユーザに効果的に求人広告が流される。またユーザにしても、自分が一番興味を持ちそうな広告が自然に流され、自分が働いてみたい条件の求人情報を効率的に得ることができる。

## 【0033】

図2は、クライアント側のスケジュール通信装置14の構成を示す。ユーザ識

別情報入力部100は、スケジュールにアクセスする際のユーザの確認をするための情報を入力する。スケジュール登録部102は、ユーザが自らスケジュールを登録または更新する際に用いる。スケジュール取得部104は、ユーザが自らスケジュールを確認する際に利用する。スケジュール取得部104によって取得されたスケジュールは、目的時刻判定部110へ送られる。

#### 【0034】

目的時刻判定部110は、取得されたスケジュールの目的時刻を判定する。たとえばスケジュールが、「1月1日から一週間旅行に出る」であれば、目的時刻は「1月1日」または「1月1日から一週間」のように判定される。スケジュールおよびその目的時刻は告知制御部120へ送られる。

#### 【0035】

告知制御部120は、スケジュールの内容とその目的時刻をユーザに告知するための各種制御を行う。たとえばユーザのスケジュールが、10月10日にコンサートに行くことであれば、告知制御部はまずディスプレイに10月10日前後のカレンダーを表示させ、かつ10月10日の日付部分に「コンサート」と表示させる。

#### 【0036】

広告取得部106は、サーバ側システム30から送られてくる企業の広告を取得する。求人情報取得部108は、同様に求人情報を取得する。求人情報はあらかじめ選抜されたユーザのみが受信可能としても良い。広告および求人情報はともに目的時刻判定部110へ送られ、これらの目的時刻が判定される。判定の結果は告知制御部120へ送られる。告知制御部120では、たとえば広告の内容が「××デパート、11月10日、全品20%オフ」であれば、11月10日前後のカレンダーを表示させ、かつその11月10日の日付部分に例えば「××デパート、20%オフ」と表示させる。同様に、求人情報が「12月10日工事現場アルバイト」であれば、告知制御部120はまず12月10日前後のカレンダーを表示させ、かつ12月10日の日付部分に「工事現場アルバイト募集中」などと表示させる。

#### 【0037】

関連情報アクセス部 160 は、表示された広告や求人情報に興味を持つユーザがその詳細情報を知りたいときに利用する。たとえば、告知制御部 120 によって表示された広告や求人情報の下線付き情報をクリックすると、関連情報アクセス部 160 はこのアクションを検出し、詳細情報へアクセスする。

## 【0038】

タイマー 150 は、スケジュール、広告、求人情報の取得を所定の時刻や一定間隔で行うために利用される。たとえば、スケジュール通信装置 14 は通常オフラインで利用され、5 分おきにダイヤルアップして広告を取得するといった制御が可能である。タイマー 150 は、ソフトウェアによるポーリングやリアルタイムクロック IC によって構成できる。リアルタイムクロック IC が利用される場合、その出力を告知制御部 120 におけるカレンダー表示に利用することができる。

## 【0039】

求人応答部 114 は、ユーザが求人に応募するときに利用する。実際には、求人情報が表示されたときに「応募する」というボタンも併せて表示し、ユーザがそのボタンをクリックしたとき求人応答部 114 がその旨をサーバ側システム 30 へ伝える。

## 【0040】

個人情報入力部 116 は、ユーザの住所氏名をはじめとする個人情報を入力する。

## 【0041】

通信 I/F 部 112 は、通信部 162 とスケジュール通信装置 14 のインタフェイスである。通信部 162 は、たとえば PC 14 があらかじめ備えるモデムや LAN 回路や光通信回路等任意の通信機能ブロックである。通信 I/F 部 112 は、通信部 162 がネットワークとの間のデータ授受が可能なようスケジュール通信装置 14 のデータを変換する。ただし、通信部 162 が通信 I/F 部 112 の機能を備えている場合もあり、その場合スケジュール通信装置 14 は通信 I/F 部 112 を持つ必要はない。

## 【0042】

図3はユーザ識別情報入力部100の構成を示す。PID入力部100aは、ユーザを個人として認証するためのIDを入力する。PPW入力部100bはユーザを個人として認証するためのパスワードを入力する。GID入力部100cはユーザをグループとして認証するためのIDを入力する。GPW入力部100dはユーザをグループとして認証するためのパスワードを入力する。

#### 【0043】

この実施の形態は、ユーザを個人として認証できるだけでなく、そのユーザが属するグループの一員として認証する機能を持つ。たとえば、友人同士でスケジュールを互いに見せることを認める場合、この友人のグループが共通のグループIDおよびグループパスワードを取得することにより、スケジュールの共有が可能となる。

#### 【0044】

ユーザ識別情報入力部100はさらに、マシンID取得部100eを備える。マシンID取得部100eは、たとえばPC12のCPUのシリアル番号等マシンに固有のIDを取得する。マシンIDを利用する場合、たとえばユーザは個人のIDを入力しなくてもよい。マシンIDと通常の個人のIDやパスワード等の組合せによるユーザの利便性の向上、またはセキュリティーの向上についてはいろいろな変形技術が考えられる。

#### 【0045】

図4は、サーバ側システム30から送られてくるデータストリーム400の構成を示す。データストリーム400は、ヘッダ402と、ユーザのスケジュール404と、そのユーザの嗜好に合うとして選択された広告406と、同じくそのユーザの嗜好やスキルに合うとして選択された求人情報408を含む。ただし、スケジュール404、広告406、求人情報408はこれらのうち任意のひとつ以上の情報が送られてくるものでもよい。

#### 【0046】

図5は、スケジュール取得部104の内部構成を示す。定間隔アクセス部104aは、既述のタイマー150の出力をもとに一定間隔でスケジュール、広告または求人情報に対するアクセスを起動する。ユーザ起動アクセス部104bは、

ユーザが明示的にスケジュール等へのアクセスを指示したとき、実際にスケジュール取得動作を起動する。広告取得部 106 および求人情報取得部 108 も一定の時間間隔またはユーザが指示したときにそれらの情報に対するアクセスを行ってもよい。広告や求人情報を取得するその他のタイミングの別の例として、ユーザがスケジュールの登録を要求したとき、スケジュールが実際に登録されたとき、ユーザがスケジュールを取得したとき等を挙げることができる。

## 【0047】

図 6 は、目的時刻判定部 110 の内部構成を示す。スケジュール定型化部 110a は、サーバ側システム 30 から送られてきたデータストリーム 400 のスケジュール 404 を解読し、スケジュールの内容と目的時刻を所定のデータフォーマットに落とす。

## 【0048】

図 7 はそのフォーマット 430 を示す。このフォーマット 430 は、ヘッダ 432 とスケジュールの内容 434 とスケジュールの目的時刻 436 を含む。広告定型化部 110b および求人情報定型化部 110c はそれぞれ広告と求人情報を図 7 同様のフォーマットへ落とす。これら 3 種類のフォーマット化されたデータは告知制御部 120 へ送られる。

## 【0049】

図 8 は告知制御部 120 の内部構成を示す。告知制御部 120 は主に表示制御部 122 と音声通知部 140 を含む。表示制御部 122 は、カレンダー表示部 124 と非カレンダー表示部 126 を含む。

## 【0050】

カレンダー表示部 124 は、スケジュールをカレンダーに組み込んだ形で表示する。その際、広告および求人情報もそのカレンダーに組み込まれ、またはそのカレンダーと関連づけられて表示される。カレンダー表示部 124 は、月表示部 128 と、週表示部 130 と、日表示部 132 と年表示部 134 と時刻表示部 136 を含む。月表示部 128 は、広告の目的時刻が月単位で表現されていればスケジュールの該当する月の表示の中にその広告を組み込む。同様に、週表示部 130 は広告の目的時刻が週単位で表現されていればスケジュールの該当する週の表示の中に

その広告を組み込む。日表示部 1 3 2、年表示部 1 3 4、時刻表示部 1 3 6 についても同様である。

#### 【0051】

これらの表示部は同時に複数が作動してもよく、たとえば「1999年11月27日から1週間」という目的時刻であれば、月表示部 2 8、週表示部 1 3 0、日表示部 1 3 2 および年表示部 1 3 4 の 4 つの表示部が同時に作動してもよい。ここでは広告について説明したが、求人情報についても同様である。

#### 【0052】

一方非カレンダー表示部 1 2 6 は、ユーザのスケジュール、広告、求人情報等をカレンダーではない形、たとえばメモの形で表示する。カレンダー表示部 1 2 4 と非カレンダー表示部 1 2 6 は同時に作動してもよく、たとえばスケジュールはカレンダーの中に記述するが、求人情報はカレンダーの外に表示することができる。

#### 【0053】

音声通知部 1 4 0 は、ユーザのスケジュール、広告、求人情報等を音声によって通知するための処理を行う。たとえば「本日午前10時東京駅」のようなメッセージでスケジュールを音声出力する構成としてもよい。メッセージをはじめとするテキストデータの音声出力については既知の任意の技術を用いてもよく、ここでは詳述しない。以上は PC 1 2 に内蔵されたクライアント側のスケジュール通信装置 1 4 の構成である。

#### 【0054】

図 9 は、サーバ側システム 3 0 の広告サーバ 3 6 に内蔵されたスケジュール装置 3 8 の内部構成を示す。

#### 【0055】

通信部 2 0 0 は広告サーバ 3 6 の有する任意の通信機能であり、通信 I/F 部 2 0 2 はこの通信部 2 0 0 とスケジュール通信装置 3 8 のインタフェースとして機能する。既述のごとく通信 I/F 部 2 0 2 は通信部 2 0 0 の中にあってもよい。

#### 【0056】

スケジュール要求受付部 2 2 4 は、ユーザから発信されたスケジュールに関す



る要求を受け付ける。この要求はユーザの識別情報とともに認証部 226 へ送られる。認証部 226 はテーブル 232 に記録された ID とパスワードの組合せを参照し、ユーザを認証する。ユーザが正しく認証されたとき、ユーザのスケジュールに対する要求はスケジュール管理部 222 に送られる。スケジュール管理部 222 は、スケジュールデータベース 42 に対するデータのリードライトを制御する。したがって、ユーザのスケジュールに対する要求がスケジュールの確認であれば、そのユーザに関するスケジュールがスケジュールデータベース 42 から読み出され、これが送信データ生成部 208 へ送られる。送信データ生成部 208 は、ユーザのスケジュールを図 4 に示したデータストリーム 400 に変換し、これを通信 I/F 部 202 および通信部 200 を介してユーザへ送信する。

## 【0057】

個人情報取得部 204 は、図 2 に示すクライアント側のスケジュール通信装置 14 の個人情報入力部 116 に入力された個人情報を取得する。この個人情報は個人情報管理部 210 へ送られる。個人情報管理部 210 は個人情報データベース 44 に対するデータのリードライトを制御する。個人情報データベース 44 から読み出されたデータは必要に応じて探索部 220 へ送られる。

## 【0058】

広告取得部 244 は、企業サーバ 52 その他から広告を取得する。この広告にはすでに目的時刻が付与されていてもよいし、されていなくともよい。目的時刻が付与されていない場合、広告取得部 244 は企業サーバ 52 等に対してその情報の送信を要求する。広告およびその目的時刻に関する情報は広告管理部 250 へ送られる。広告管理部 250 は広告データベース 50 に対するデータのリードライトを制御する。広告データベース 50 から読み出された広告は必要に応じて探索部 220 および課金管理部 246 へ送られる。

## 【0059】

求人情報受付部 206 は、企業サーバ 52 等から求人情報を取得する。取得された求人情報はバッファメモリ 242 へ格納される。取得された求人情報は送信データ生成部 208 および課金管理部 246 へ送られる。送信データ生成部 208 は、後述する探索部 220 によって選抜されたユーザに対し求人情報を送るた

めに必要なデータを生成する。求人応答受付部 240 は、ユーザに送信された求人情報に対する応募を受け付ける。受け付けられた応募はバッファメモリ 242 に格納される。

#### 【0060】

関連情報指示部 230 は、送信された広告や求人情報に関する関連情報に対してユーザがアクセスを試みたとき、そのアクセスを実現するための処理を行う。関連情報指示部 230 はユーザがどのような広告または求人情報に対して興味を示したかを把握できるため、その情報を探索部 220 へ送る。関連情報に対するアクセスはまた、本スケジュール通信装置 38 が適切なユーザに適切な広告や求人情報を送信できたことを示す尺度となるため、その情報は課金管理部 246 へ送られる。すなわち、一種の成功報酬としての課金が発生する。

#### 【0061】

図 10 は、個人情報取得部 204 の内部構成を示す。ゲーム配信部 204 a は、ネットワークを介してクライアントにゲームソフトウェアを配信する。クイズ配信部 204 b は、同様にクライアントにクイズを配信する。アンケート通信部 204 c は、インセンティブ型アンケート配信部 204 d と一般アンケート配信部 204 e とアンケート受信部 204 f を含む。

#### 【0062】

インセンティブ型アンケート配信部 204 d は、ゲーム配信部 204 a によって配信されたゲームで優秀な成績を収めたユーザにインセンティブ型のアンケートを配信する。インセンティブ型のアンケートとは、ユーザがその住所、氏名、年齢、職業、趣味、勤務先、好きなスポーツ、好きな音楽のジャンル、好きな映画、好きな雑誌、ひいきにしているスポーツチーム、よく出かける街、好きな食べ物、ライフスタイルに関する情報、行ってみたい国などの個人情報を回答することを条件として、ゲームで優秀な成績を収めたことに対する商品や景品をオンラインやオフラインで提供するものである。同様のアンケートは、クイズに正解し、または優秀な成績を収めたユーザにも配信される。

#### 【0063】

ユーザメリット提供部 204 g は、そうした景品や商品等のユーザメリットを

いろいろな形で提供する。この実施の形態では、たとえばユーザに対してネットワークの利用に関連するメリットを与える。たとえばスケジュールの通信で発生する費用を割り引いたり、音楽やゲーム等のソフトウェアを無料で配信したり、企業サーバ52を提供する企業の各種ネットワークサービスを低額で提供したり、ゲームまたはクイズの成績優秀者としてネットワーク上で表彰する等が考えられる。

#### 【0064】

一方、一般アンケート配信部204eは、本実施の形態に係るスケジュールの通信サービスを開始する際に所定の必要事項をユーザに記入させるためのアンケート、その他とくにインセンティブを与えないタイプのアンケートを配信する。

#### 【0065】

アンケート受信部204fは、インセンティブ型のアンケートまたは一般アンケートに対するユーザの回答を受信する。この回答は個人情報管理部210を介して個人情報データベース44に格納される。これらのアンケート、とくにインセンティブ型のアンケートにより、ユーザの詳細な個人情報をユーザ自らが進んで提供できる環境を作り出すことができる。そのため、ユーザをその嗜好に応じたセグメンテーションすることができる。

#### 【0066】

図11は個人情報管理部210の内部構成を示す。データベースリード部210aは個人情報データベース44から必要なユーザの個人情報を読み出す。読み出された個人情報は探索部220へ送られる。データベースライト部210bは、個人情報取得部204から送られた個人情報を個人情報データベース44へ書き込む。

#### 【0067】

図12はユーザごとに作成された個人情報カード450の構成を示す。個人情報カード450は個人情報データベース44に格納されている。このカード450は、アンケートの回答から得られた個人情報を格納するための第一の領域452と、後述する関連情報指示部230において得られた情報を格納する第二の領域454を含む。第一の領域452は、既述のユーザの住所氏名等の情報を格納

する。一方、第二の領域454は、後述のごとくユーザがアクセスした関連情報の内容、すなわちジャンルとそのアクセス回数を格納する。アクセスした関連情報の内容とその回数により、ユーザの嗜好を把握する趣旨である。

#### 【0068】

図13は、スケジュール要求受付部224の内部構成を示す。スケジュール確認受付部224aは、ユーザがそのスケジュールの確認の要求を送信したときこれを受け付ける。スケジュール更新受付部224bは、ユーザがそのスケジュールの登録または更新の要求を送信したとき、これを受け付ける。ただし、更新も登録もスケジュールの書き込みに相当し、それらに技術的な意味での相違はない。

#### 【0069】

図14は、認証部226の内部構成を示す。PID/PPW判定部226aは、ユーザが個人識別情報として送信してきた個人のIDとパスワードの整合性を判定する。一方GID/GPW判定部226bは、ユーザがグループの一員として送信してきたIDとパスワードの整合性を判定する。これらふたつの判定部は、IDとパスワードの組合せが正しいかどうかをテーブル232に格納された組合せに照らして判断する。マシンID判定部226cは、ユーザのマシンのIDが送られてきた際、これとユーザのパスワードの整合性等を判定する。ユーザが正しく認証されたとき、スケジュールの確認または更新を許可すべく、そのユーザの名前またはID等の情報がスケジュール管理部222へ送られる。

#### 【0070】

図15は、企業サーバ52から送信された求人情報460を示す。求人情報460は求人情報受付部206で受信され、バッファメモリ242へ一時的に格納される。求人情報460は、任意の数の募集を含む。ここでは、第一の募集462としてコンサートチケット購入のためにアルバイトとして並ぶ人員が求められている。また第二の募集464として、PC設計の正社員が求められている。いずれの情報も、人員が必要とされる目的時刻、勤務地、勤務内容、給与、勤務の内容または分類、募集の詳細を知るための企業のホームページのURL等が記述されている。目的時刻の例として、勤務開始日や開始時間、勤務の期間、勤務時

間帯などがある。

【0071】

図16は、企業サーバ52から送られた広告470を示す。広告470は広告取得部244で受信される。広告470は任意の数の広告アイテムを含む。ここでは第一のアイテム472としてレコードショップにおけるディスカウントセールが記述され、第二のアイテム474として美術館における特別展が記述されている。いずれのアイテムも、ディスカウントの期間や展示の期間等の目的時刻、広告の対象となるイベントの開催場所、広告すべき内容、イベントの内容または分類、イベントの詳細を知るためにアクセスすべきURL等を含む。

【0072】

図17は関連情報指示部230の内部構成を示す。アクセス検出部230aは、ユーザから送信されてきた広告や求人情報の関連情報、すなわちここでは詳細情報を知るためにPC12の画面等に表示されたボタン等（図示せず）を押したとき、このアクションを検出する。キャストイング部230bは、アクセス検出部によって関連情報へのアクセスが検出されたとき、実際にその関連情報を保持する企業サーバ52またはそのホームページへユーザのアクセスをキャストする。

【0073】

一方、アクセス情報分析部230cは、ユーザがクリックした関連情報の内容を判定するアクセス内容判定部230bと、その関連情報と同様の内容を持つ関連情報へユーザがアクセスした合計回数をカウントするアクセス回数計数部230eを含む。関連情報の内容は、その関連情報が属するジャンル、分野、カテゴリー等関連情報をインデキシングする任意の分類であってよい。

【0074】

図12の個人情報カード450の第二の領域454は、こうして分析された関連情報の内容およびアクセス回数を示す。たとえば同図のごとく、このユーザは音楽関係の情報に10回アクセスし、美術関係の情報に5回アクセスし、以下同様にアクセスされた関連情報の内容とその回数がリスト化されている。アクセス情報分析部230cによって得られた情報は、個人情報取得部204へ送られ、

そこで個人情報カード450が作成される。ただし、個人情報カード450は第一の領域452のみを含む構成であってもよく、その場合、アクセス情報分析部230cによって得られた情報は直接探索部220へ送られる。これらの情報の管理および格納の方法に種々の形態があることは当業者には容易に理解されるところである。

#### 【0075】

図18は探索部220の内部構成を示す。探索部220は主に、広告に関連する探索機能と、求人情報に関連する探索機能を有する。広告に関連する探索機能として、広告ベースユーザ検出部220aおよびユーザベース広告検出部220bが設けられている。

#### 【0076】

広告ベースユーザ検出部220aは、まず企業がユーザに配信したいと考える広告を想定する。しかるのち、その広告に適合するユーザを選択する。ユーザを選択する際、個人情報カード450が利用される。たとえば広告があるデパートの大売り出しに関するものであれば、たとえばショッピングを趣味とするユーザが選択される。また、音楽CDのディスカウントセールが広告の内容であれば、音楽に興味を持つユーザが選択される。別の例として、横浜のバーゲンセールに関する広告であれば、まず横浜を中心とするユーザが選択される。ユーザは個人情報カード450の第一の領域452、第二の領域454のいずれを用いて選択されてもよいし、それらの領域に含まれる任意の項目の任意の組合せをもとに選択されてもよい。いずれにせよ、広告ベースユーザ検出部220aは、ある広告をベースに、その広告に何らかの意味で嗜好が合致する、または興味を持ちうるユーザを選択すればよい。

#### 【0077】

一方、ユーザベース広告検出部220bは逆に、まずあるユーザを想定する。つづいてそのユーザにふさわしい広告を選択する。このときも個人情報カード450が利用される。たとえば図12に示す個人情報カード450を持つユーザについて広告を選択する際、そのユーザの趣味がドライブであり、頻繁にアクセスした分野が音楽や旅行であるとわかる。したがって、図16に示す広告470の

複数のアイテム472、474等から「ドライブ」「音楽」「旅行」等の言葉、またはそれらに関連する言葉を含むアイテムを選択する。図16のごとく、あらかじめアイテム472、474等が「分類」という情報レコードを有していればその分類をもとに広告を選択してもよい。

## 【0078】

ユーザベース広告検出部220bはさらに、ユーザのプロファイル、たとえば年齢、住所、職業等からそのユーザが興味を持ちうる広告を選択することもできる。ユーザのプロファイルからある程度その消費傾向を推測することができるためである。ユーザのプロファイルを利用した選択は、当然ながら広告ベースユーザ検出部220aでも行うことができる。

## 【0079】

一方、求人情報に関する選択は、求人条件マッチング判定部220cで行われる。求人条件マッチング判定部220cは、ユーザスキル判定部220dとユーザ嗜好判定部220eとユーザスケジュール判定部220fを含む。ユーザスキル判定部220dは求人情報に明示的または暗黙的に含まれる求人の条件と整合するスキルを有するユーザを選抜する。

## 【0080】

たとえば図15の求人情報460の第二のアイテム464は、職務の内容がPCの設計である。したがって、現在または過去の職歴にPCの設計、情報機器の開発等が記載されているユーザがまず選抜される。求人の条件として年齢や資格の有無が定められている場合、それらの条件も併せて満たすユーザが選抜される。ユーザの選抜にあたり、あらかじめ求人情報を作成した企業に、ユーザを探索する際のキーワードを選定させてもよい。

## 【0081】

ユーザ嗜好判定部220eは、求人の職務のジャンルに嗜好があうユーザを選抜する。たとえば求人の内容が図15の求人情報460の第一のアイテム462のように、音楽に関連するアルバイトであれば、個人情報カード450をもとに音楽に興味を持ちうるユーザが優先的に選抜される。

## 【0082】

ユーザスケジュール判定部 220f は、求人情報の目的時刻にスケジュールが整合するユーザを選抜する。すなわち、求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザを優先的に選抜する。そのため、ユーザスケジュール判定部 220f は、スケジュール管理部 222 を介してスケジュールデータベース 42 へアクセスする。ただし、企業が比較的長期にわたる勤務、たとえば正社員としての人員を求めている場合、その条件に見合うほど長期間にわたってスケジュールが入っていないユーザはほとんど存在しないと考えられる。したがってその場合、ユーザスケジュール判定部 220f は比較的短期の勤務に関する求人情報についてユーザを選抜してもよい。

#### 【0083】

以上、この探索部 220 によれば、広告を流したときの効果が大きいと思われるユーザをあらかじめ絞り込むことができ、そうしたユーザに集中的に広告を流すことができる。逆にユーザから見た場合、配信されてくる広告はいずれも比較的自分の興味をひくものであり、氾濫する情報の中で自分が欲する情報を見失う危険性が減る。

#### 【0084】

求人情報については、求人情報マッチング判定部 220c の作用により、企業における応募者の選抜の手間を軽減できる。ユーザスキル判定部 220d は企業における応募者の書類選考を一部代行しうる。ユーザから見ても、自分のスケジュールが空いているときに自分が比較的興味を持ちやすい仕事が提示されるため、効率的に良質の求人情報を得ることができる。

#### 【0085】

すなわち、探索部 220 はユーザのために広告と求人情報をスクリーニングする機能を提供し、同時に企業に対して効果的なマーケティングおよび人材の確保のスクリーニング機能を提供する。しかも、こうした広告や求人情報がスケジュールにリンクされた形で提供されるため、ユーザによる情報の活用に極めて高い利便性を与える。流動性のある労働力の効率的かつ迅速な確保が企業の存続に影響を与える今日、この実施の形態の意義は大きい。

#### 【0086】



図 1 9 は送信データ生成部 2 0 8 によって生成された送信データ 5 0 0 を示す。送信データ 5 0 0 は、ヘッダ情報の一部であるユーザ／グループアドレス 5 0 2、スケジュール 5 0 4、広告 5 0 6、求人情報 5 0 8 を含む。ユーザ／グループアドレス 5 0 2 は、探索部 2 2 0 によって特定された、スケジュール 5 0 4 等を送信すべきユーザまたはグループのアドレスである。ただし、グループのアドレスは各ユーザと別個に存在する必要はなく、そのグループに属する複数のユーザの複数のアドレスの集合体であってもよい。スケジュール 5 0 4、広告 5 0 6、求人情報 5 0 8 はそれぞれの中に目的時刻を含むよう生成される。ただし、送信データ生成部 2 0 8 は必ずしも目的時刻を含めた形でスケジュール 5 0 4 等を記述する必要はない。その場合、クライアント側のスケジュール通信装置 1 4 の目的時刻判定部 1 1 0 がスケジュール取得部 1 0 4 を介して目的時刻を問い合わせる構成としてもよい。すなわち、目的時刻の最終的な確定は、送信データ生成部 2 0 8、クライアント側のスケジュール取得部 1 0 4 および目的時刻判定部 1 1 0 の間で分担することができる。

#### 【 0 0 8 7 】

図 2 0 は課金管理部 2 4 6 の内部構成を示す。この実施の形態では、課金は広告または求人情報のユーザへの配信を要請した企業に対して行われる。企業サーバ識別部 2 4 6 e は求人情報、または広告の配信を依頼した企業サーバを特定する。特定された企業サーバごとにテーブル 2 4 8 の中に課金情報が生成される。

#### 【 0 0 8 8 】

求人情報カウンタ 2 4 6 a は企業サーバから依頼された求人情報、またはそれに含まれる求人アイテムを計数する。同様に広告カウンタ 2 4 6 b は企業サーバから依頼された広告またはそれに含まれる広告アイテムを計数する。これらのカウンタによるカウント値にそれぞれ単価がかけられ、課金情報が生成される。

#### 【 0 0 8 9 】

この実施の形態ではさらに、企業が探索部 2 2 0 によるユーザの探索を依頼したとき、探索の内容や回数によって料金が加算される。探索加算部 2 4 6 c はそのための計算を行う。たとえばユーザを選抜する際の条件の数に単価をかけて加算額を決定する。その他、探索に要した時間等をもとに加算額を決定してもよく

、この部分も設計の自由度が高い。

#### 【0090】

課金情報管理部246はさらに関連情報アクセスカウンタ246dを有する。このカウンタは、広告または求人情報を受信したユーザがその関連情報にアクセスした回数を記録する。この回数が多いほどユーザが高い興味を示したことになるので、前述のごとく一種の成功報酬として料金が加算される。以上、全ての料金が合計されこの企業に対する課金額がテーブル248へ格納される。

#### 【0091】

以上のスケジュール通信システム10によるスケジュールの通信およびそれに伴う広告と求人情報の配信処理について具体的に説明する。

#### 【0092】

図21は、ユーザがスケジュールを確認するときにPC12のディスプレイに表示される初期画面300を示す。ここではスケジュールを確認するための個人識別情報入力画面302が表示されている。ユーザは、個人としてのスケジュールにアクセスしたい場合には個人に関するID(PID)およびパスワード(PPW)を入力する。一方、自分が所属するあるグループのスケジュールを見たい場合には、グループのID(GID)およびそのパスワード(GPW)を入力する。

#### 【0093】

図22は、ユーザが携帯電話16を用いてスケジュールを確認する際に表示される初期画面360を示す。携帯電話の場合、個人のIDは契約者番号(電話番号)によって特定することができるため、ここでは単にパスワードを入力すればよい。同図ではパスワードの入力窓をひとつだけ描いているが、当然グループのパスワードを入力可能としてもよい。以下、PC12を用いるときと携帯電話16を用いるときで本質的な相違はないため、PC12を用いる例を中心に説明する。

#### 【0094】

図23は、ユーザが正しく認証された後表示されたスケジュールである。スケジュール表示画面332は、告知制御部120の表示制御部122の作用により

、今日、今週、または今月のスケジュールが切り替え可能に表示される。これらの切り替えは「今日」のタブ 3 1 0、「今週」のタブ 3 1 2、「今月」のタブ 3 1 4 によって切り替え可能である。

#### 【0 0 9 5】

図 2 3 は、今日のスケジュールを示している。スケジュール表示画面 3 3 2 の左半分は主に時経列に並べられたスケジュールに関する。一方右半分はスケジュールに対する補足情報を表示し、たとえばメモ、友人等のアドレス、スケジュール帳の任意の場所に貼り付けることが可能な各種マークを収めたシールの画面が選択できる。選択は「メモ」タブ 3 1 6、「アドレス」タブ 3 1 8、「シール」タブ 3 2 0 によって行われる。

#### 【0 0 9 6】

まず左画面において、「今日」のスケジュールが選択されているとする。そのとき今日の日付 1 1 月 2 7 日が表示され、その下に今日の予定が表示されている。今日の予定の欄は、目的時刻の欄 3 4 0 とスケジュールを象徴的に表すシンボルの欄 3 4 2 とスケジュールの内容を示す欄 3 4 4 を含む。シンボルの欄 3 4 2 には、四角、三角、丸の 3 種類のシンボルが記入されている。たとえば四角は個人のプライベートな予定に関連し、丸は仕事に関連し、三角は企業から送られた広告を示す。この図の場合、このユーザは 1 1 時にスポーツクラブの予約をし、1 3 時にアルバイトに入る。1 6 時に記述された「mini ライブ AAA in 横浜」は、このユーザが興味を持ちうるとして選択された広告である。この場合、このユーザはたとえば「AAA」というロックグループのファンクラブに入っていた可能性がある。このように広告はその目的時刻にしたがってユーザのスケジュールの中に組み込まれて表示される。

#### 【0 0 9 7】

ユーザのスケジュールが表示された「今日の予定」の欄外に「1 1 / 2 8 × × × × でチケット購入バイトあり」という表示がなされている。これはこのユーザが興味を持つとして、またはこのユーザの予定が空いている日に相当するとして選択された求人情報である。この情報の前に丸印 3 4 6 が付され、これが仕事すなわち求人情報に関連することが明示されている。ただし、ユーザ自身がすでに

行っている仕事、たとえば13時に入るアルバイトと区別するために、丸印346の色を変える等の工夫をなしてもよい。

#### 【0098】

この求人情報にはリンク348がはられており、ユーザはその部分をクリックすることによりこのアルバイトのより詳細な情報を確認することができる。

#### 【0099】

なお、「今日の予定」のスケジュールの欄は「日記」の表示と切り替えが可能である。また今日の日付「11/27」および「今日の予定」以外の余白部分にユーザが望む任意のキャラクターまたは画像を表示する構成としてもよい。そうしたキャラクターや画像は広告を流す企業が低額または無償で提供してもよい。

#### 【0100】

一方、スケジュール表示画面332の右画面は、現在メモを表示する状態になっている。ここではこのユーザが11時に予約をすべきスポーツクラブの電話番号がメモとして書き込まれている。右画面にはサーバから最新情報を取り寄せるためにクライアントとサーバの間でコネクションを確立するための接続ボタン322が設けられている。ユーザがこの接続ボタン322を押すと、このPC12はダイヤルアップ等任意の接続方法でインターネットに接続し、サーバから最新の広告や求人情報等を受信する。

#### 【0101】

ユーザがスケジュールの確認や更新をするときにもこの接続ボタン322を押せばよい。接続ボタン322が押されたとき、その旨が図5のスケジュール取得部104のユーザ起動アクセス部104bに伝えられる。一方、ユーザが接続ボタン322を押さない場合であっても、この実施の形態ではタイマー150の作用により、定間隔アクセス部104aを介してユーザのスケジュール等が取得される。

#### 【0102】

図24はスケジュール表示画面332の別の状態を示す。左画面では、「今週」のスケジュールが選択されており、11月7日から13日の1週間のスケジュールが表示されている。ここでも個人のスケジュールが表示される他、11月1

1日には「BBBニューシングル発売」という広告が表示されている。また、スケジュールの領域の欄外には「ABCレコードセール中(11/6-12)」という広告も表示されている。この広告にもリンク348が設定され、関連情報へのアクセスが可能となる。

## 【0103】

一方、右画面では「シール」の画面が選択されている。ここでは「かいもの」を示す象のシンボル350をはじめ、いろいろな行動予定やスケジュールに関連することばに画像シンボル350が与えられている。これらのシンボル350はスケジュールをより簡潔に、かつわかりやすく表示するためにスケジュールの中に貼り込むことができる。また、これらのシンボル350をそのままシール用紙にハードコピーすることにより、実際にシールとして利用することもできる。これらのシンボルも、ユーザが自ら描きうる他、広告等を提供する企業から無償でダウンロードできる構成としてもよい。

## 【0104】

図25はスケジュール表示画面332のさらに別の状態を示す。まず左画面において、「今月」のスケジュールが選択され、1999年11月の1ヶ月のスケジュールが表示されている。この場合スケジュールの内容を書き込むスペースがないため、先に導入した四角、丸、三角のシンボル342のみを表示している。この状態で任意の日付をクリックすることでその日のスケジュールを表示する構成としてもよいし、任意のシンボル342をクリックすることでそのシンボルに対応するスケジュールの内容を表示する構成としてもよい。当然ながら、シンボルの形状や色もユーザごとに任意に設定できる構成としてもよい。

## 【0105】

図26はユーザが携帯電話16を利用する際スケジュールの確認のために現れる画面360を示す。この画面360は、図23のスケジュール表示画面332の左画面に対応する。一般に携帯電話16は表示画面が狭いため、PC12のディスプレイに表示されるスケジュールのための画面の任意のサブセット、または携帯電話16に特化した画面を表示させればよい。

## 【0106】

図 27 は、ユーザがスケジュールを確認する際の手順を示すフローチャートである。ユーザはまずスケジュール取得部 104 を用い、スケジュール確認の要求を送信する (S10)。広告サーバ 36 のスケジュール要求受付部 224 はユーザから発信された要求を受け付ける (S12)。つづいて、認証部 226 がユーザを認証する (S14)。認証が正しく終われば、スケジュール管理部 222 によりそのユーザのスケジュールがスケジュールデータベース 42 から読み出され (S16)、これが送信データ生成部 208 へ送られる。送信データ生成部 208 は、送信データ 500 を生成し (S18)、これを通信 I/F 部 202 へ送る。送信データ 500 は通信 I/F 部 202 から通信部 200 へ送られ、ユーザへ送信される (S20)。

#### 【0107】

ユーザは送信された送信データ 500 を通信部 162 および通信 I/F 部 112 を介してスケジュール取得部 104 にて取得する (S22)。つづいて、目的時刻判定部 110 においてスケジュール、および存在する場合の広告と求人情報の目的時刻を判定する (S24)。つづいて、告知制御部 120 においてスケジュールその他の情報のカレンダー表示がなされる (S26)。ユーザはカレンダー表示されたスケジュールその他の情報を見ることにより、自らのスケジュールおよび広告または求人情報を確認することができる (S28)。

#### 【0108】

図 28、図 29 はスケジュールを確認する際に広告も表示するための手順を示すフローチャートである。広告をユーザに配信する準備として、まず企業サーバ 52 から広告サーバ 36 へ広告 470 が送信される (S100)。広告サーバ 36 は、受信した広告 470 のセグメント化と格納を行う (S102)。ここでセグメント化とは、後に必要な広告をより簡単に探索すべく、その広告に必要なキーワードを与えることをいう。ただし、広告 470 が企業サーバ 52 から送られてきた時点ですでにこうした分類のためのキーワードが付与されている場合、セグメント化は必要ない。広告 470 は、広告管理部 250 を介して広告データベース 50 に格納される。

#### 【0109】

つづいて個人情報管理部210を介して個人情報データベース44を読み出し、目的ユーザを探索する(S106)。ここで目的ユーザとは、先ほどの広告を送信すべきユーザをいう。この探索は個人情報カード450をもとに探索部220によって行われる。以上で広告を配信するための準備が完了する。

#### 【0110】

ここでユーザがスケジュール確認の要求を発信したとする(S10)。広告サーバ36はこの要求を受け付け(S12)、ユーザを認証し(S14)、そのユーザのスケジュールを読み出す(S16)。ここで、このユーザが先ほどの広告の目的ユーザであるか否かにより処理が異なる(S108)。目的ユーザであれば、送信データ500にスケジュールのみならず広告を格納し、データTD1を生成する(S110)。一方、目的ユーザでなければ、広告を格納せずにデータTD2を生成する(S112)。こうして生成された送信データ500はユーザに送信される(S20)。

#### 【0111】

ユーザは、送信データ500、すなわちデータTD1またはTD2を受信する(S22)。つづいてそのスケジュールおよび必要な場合には広告の目的時刻を判定する(S24)。スケジュール等の情報はカレンダー表示され(S26)、ユーザはスケジュール等の情報を確認する(S28)。かりに、ユーザが表示された広告に興味を示したとき、ユーザは関連情報、すなわち詳細広告の表示を要求する(S120)。この要求は、関連情報アクセス部160により発信される。この要求は関連情報指示部230のアクセス検出部230aにより検出される。キャッシング部230bは、ユーザに詳細な情報を送るべくアクセスがあった旨を企業サーバ52へ取り次ぐ(S122)。それと並行して、アクセス情報分析部230cによりユーザがアクセスした情報の内容の判定およびアクセス回数のカウントが行われる(S124)。

#### 【0112】

企業サーバ52または企業のホームページは、ユーザに求められた関連情報、すなわち詳細広告をユーザに直接、またはWWWサーバ34を介して、または広告サーバ36を介して送信する(S126)。詳細広告を受信したユーザはその

内容を確認する（S128）。

#### 【0113】

なおここでは、まず広告を仮定してユーザを選択したが、当然これは逆であってもよい。すなわちユーザを先に仮定し、そのユーザにふさわしい広告を選択する構成であってもよく、その処理については図18の探索部220の広告ベースユーザ検出部220aまたはユーザベース広告検出部220bのいずれかの機能によって実現される。

#### 【0114】

図30は広告サーバ36からユーザへ向けて求人情報を発信する手順を示すフローチャートである。ユーザに求人情報を配信する準備として、まず企業サーバ52が広告サーバ36へ求人情報を発信する（S200）。求人情報は求人情報受付部206で取得される（S202）。つづいて個人情報管理部210が個人情報データベース44から個人情報を読み出す（S204）。個人情報は個人情報カード450として探索部220へ送られる。スケジュール管理部222はユーザのスケジュールをスケジュールデータベース42から読み出す（S206）。スケジュールの情報も探索部220へ送られる。

#### 【0115】

探索部220は目的ユーザを探索する（S208）。まず個人情報をもとに、求人条件マッチング判定部220cのユーザスキル判定部220dおよびユーザ嗜好判定部220eがユーザの絞り込みを行う。つづいてユーザスケジュール判定部220fが求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザを選抜する。送信データ生成部208は、目的ユーザのアドレスを格納して送信データ500を生成し、これを通信I/F部202および通信部200を介してユーザに発信する（S210）。

#### 【0116】

ユーザはその求人情報取得部108により、広告サーバ36から送られた求人情報を取得する（S212）。求人情報は目的時刻判定部110および告知制御部120による処理を経てカレンダー表示される（S214）。ここではかりにユーザが求人に応募するとする（S216）。応募は求人応答部114を介して行



われる。応募はいったん広告サーバ36へ送られ、求人応答受付部240で取得され、バッファメモリ242へ格納される。つづいて、応募があった旨が求人応答受付部240から通信I/F部202および通信部200を経て企業サーバ52へ取り次がれる(S218)。この後、企業とユーザの間で任意の雇用契約が結ばれる(S220)。

#### 【0117】

なお、ここでは任意のタイミングで求人情報がユーザへ送信される例を示したが、当然ユーザがスケジュールを確認した際にこれを送信する構成としてもよい。この例でも求人情報を仮定し、それにふさわしいユーザを探索することにしたが、まずユーザを仮定しそのユーザに適合する求人情報を選択する構成としても何ら差し支えはない。

#### 【0118】

以上、実施の形態を説明したが、本発明の技術的な範囲はこれらの記載には限定されない。変形例として、求人情報に限らず、ユーザーにふさわしい内容やレベルの教育ツールを選択的に送信したり、ユーザーが関心のある医療情報を送信するシステムを構築することもできる。その他、ユーザーが求める不動産情報、物品売買または提供の情報、興味のある旅行先の天候、気候情報などを送信することもできる。

#### 【0119】

また、自分自身やその属するグループのスケジュールのみならず、自分がファンクラブに入っている場合、その対象人のスケジュールを確認可能としてもよい。すなわち、他人のスケジュールを確認できる構成も可能である。その場合、そうしたアクセスを許すための特別なIDやパスワードを設定してもよい。また、特別な課金管理を行ってもよい。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図1】

実施の形態に係るスケジュール通信システムの構成図である。

##### 【図2】

クライアント側のスケジュール通信装置の内部構成図である。

## 【図 3】

図 2 のユーザ識別情報入力部の内部構成図である。

## 【図 4】

図 2 のスケジュール取得部で取得されるデータストリームを示す図である。

## 【図 5】

図 2 のスケジュール取得部の内部構成図である。

## 【図 6】

図 2 の目的時刻判定部の内部構成図である。

## 【図 7】

目的時刻判定部から出力されたデータフォーマットを示す図である。

## 【図 8】

図 2 の告知制御部の内部構成図である。

## 【図 9】

サーバ側のスケジュール通信装置の内部構成図である。

## 【図 1 0】

図 9 の個人情報取得部の内部構成図である。

## 【図 1 1】

図 9 の個人情報管理部の内部構成図である。

## 【図 1 2】

個人情報カードを示す図である。

## 【図 1 3】

図 9 のスケジュール要求受付部の内部構成図である。

## 【図 1 4】

図 9 の認証部の内部構成図である。

## 【図 1 5】

求人情報を示す図である。

## 【図 1 6】

広告を示す図である。

## 【図 1 7】

図 9 の関連情報指示部の内部構成図である。

【図 1 8】

図 9 の探索部の内部構成図である。

【図 1 9】

図 9 の送信データ生成部で生成された送信データの構成図である。

【図 2 0】

図 9 の課金管理部の内部構成図である。

【図 2 1】

ユーザがスケジュールを確認するための初期画面を示す図である。

【図 2 2】

ユーザが携帯電話を用いてスケジュールを確認するための初期画面を示す図である。

【図 2 3】

ユーザがスケジュールを確認するために表示された画面を示す図である。

【図 2 4】

ユーザがスケジュールを確認するために表示された別の画面を示す図である。

【図 2 5】

ユーザがスケジュールを確認するために表示されたさらに別の画面を示す図である。

【図 2 6】

ユーザが携帯電話を利用する際に表示されたスケジュールを示す図である。

【図 2 7】

ユーザがスケジュールを確認するための手順を示すフローチャートである。

【図 2 8】

ユーザがスケジュールを確認する際広告を表示する手順を示すフローチャートである。

【図 2 9】

ユーザがスケジュールを確認する際広告を表示する手順を示すフローチャートである。

【図 3 0】

広告サーバからユーザへ求人情報を送信する手順を示す図である。

【符号の説明】

- 1 0 スケジュール通信システム
- 1 4 スケジュール通信装置
- 3 0 サーバ側システム
- 3 4 WWWサーバ
- 3 6 広告サーバ
- 3 8 スケジュール通信装置
- 4 2 スケジュールデータベース
- 4 4 個人情報データベース
- 5 0 広告データベース
- 1 0 0 ユーザ識別情報入力部
- 1 0 2 スケジュール登録部
- 1 0 4 スケジュール取得部
- 1 0 6 広告取得部
- 1 0 8 求人情報取得部
- 1 1 0 目的時刻判定部
- 1 1 4 求人応答部
- 1 1 6 個人情報入力部
- 1 2 0 告知制御部
- 1 6 0 関連情報アクセス部
- 1 2 2 表示制御部
- 1 2 4 カレンダ表示部
- 1 4 0 音声通知部
- 2 0 4 個人情報取得部
- 2 0 6 求人情報受付部
- 2 0 8 送信データ生成部
- 2 2 0 探索部

2 2 4 スケジュール要求受付部

2 2 6 認証部

2 3 0 関連情報指示部

2 4 0 求人応答受付部

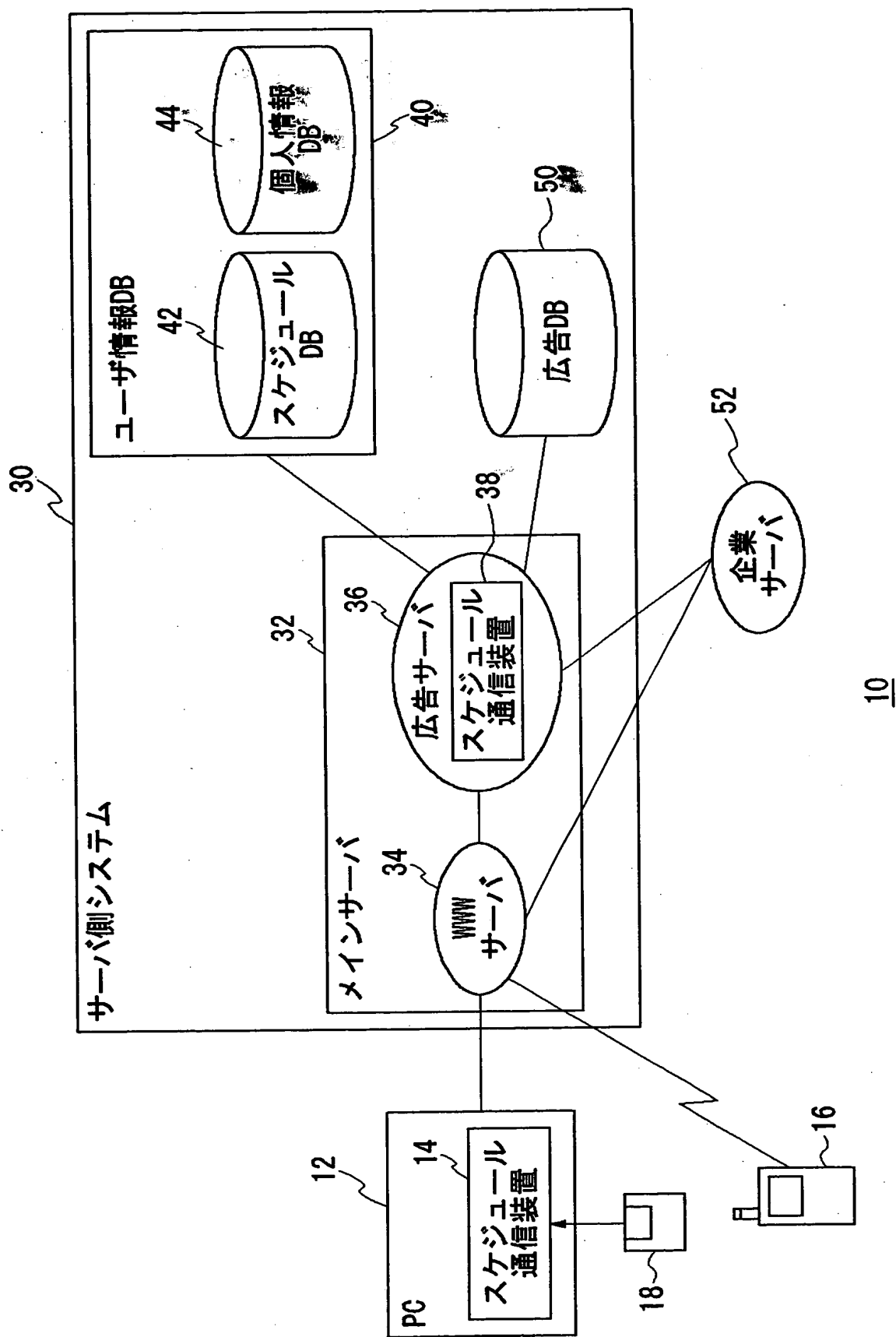
2 4 4 広告取得部

2 4 6 課金管理部

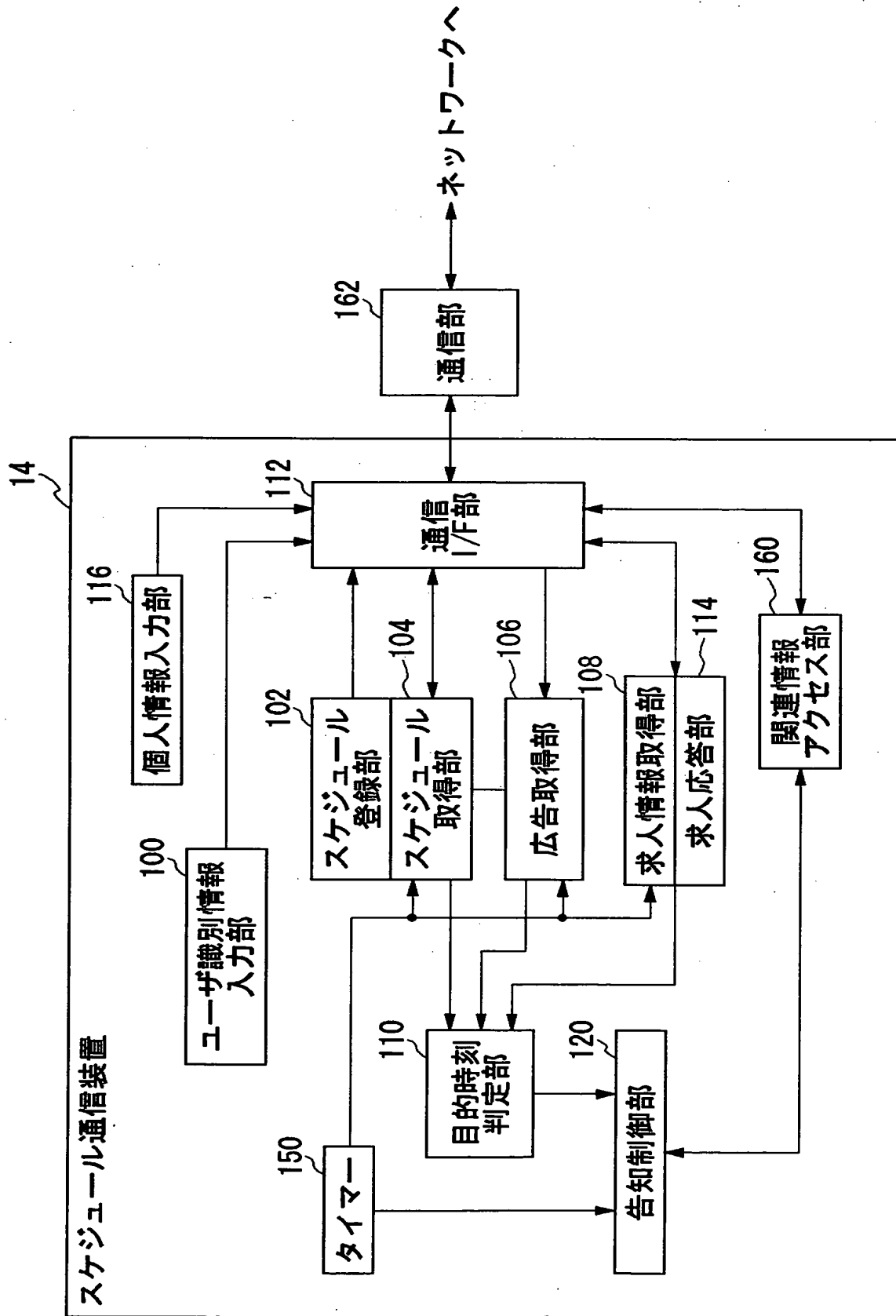
5 0 0 送信データ

【書類名】 図面

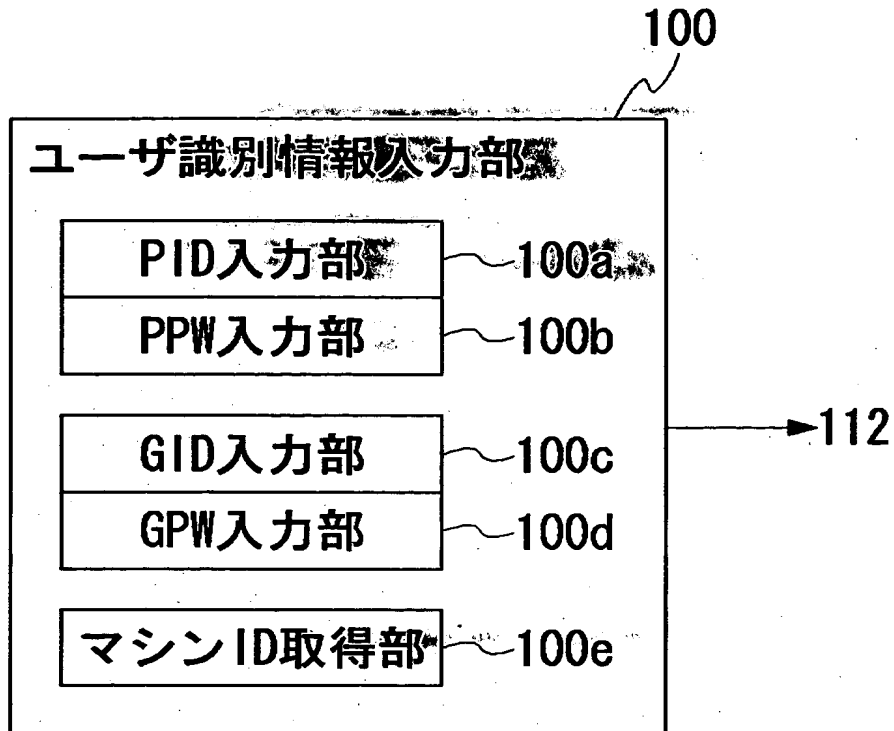
【図 1】



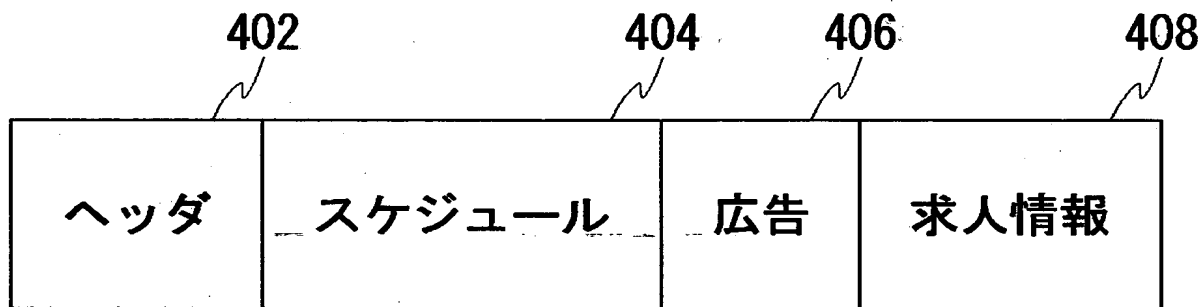
【図 2】



【図 3】

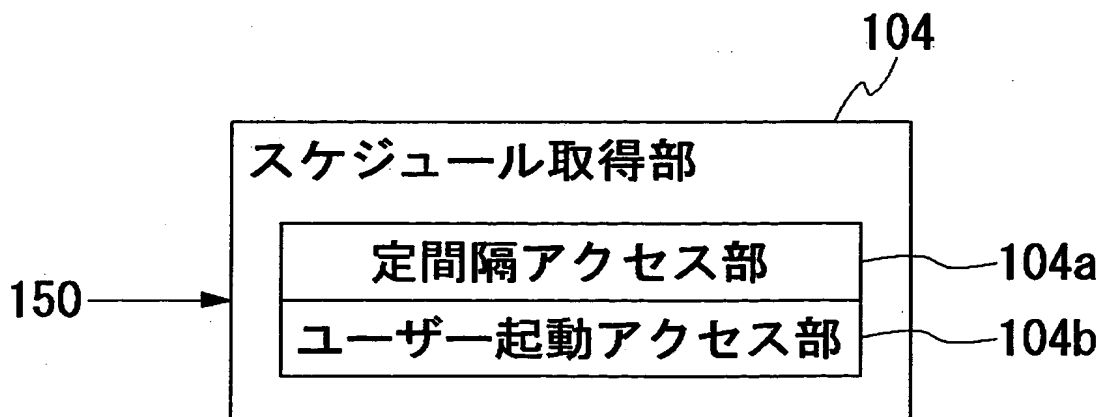


【図 4】



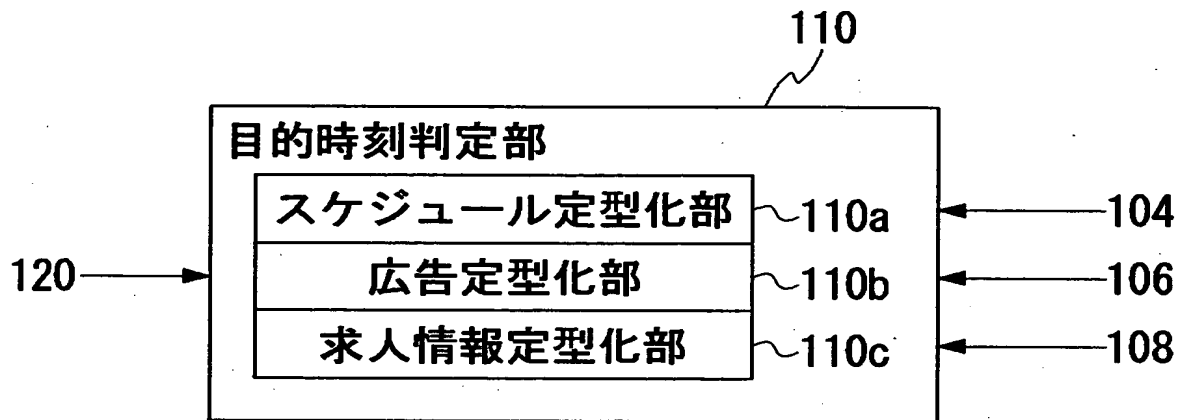
400

【図 5】

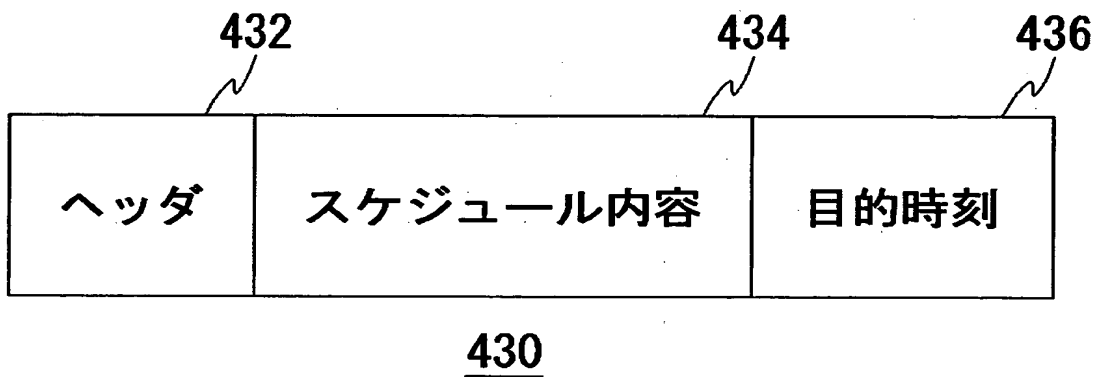




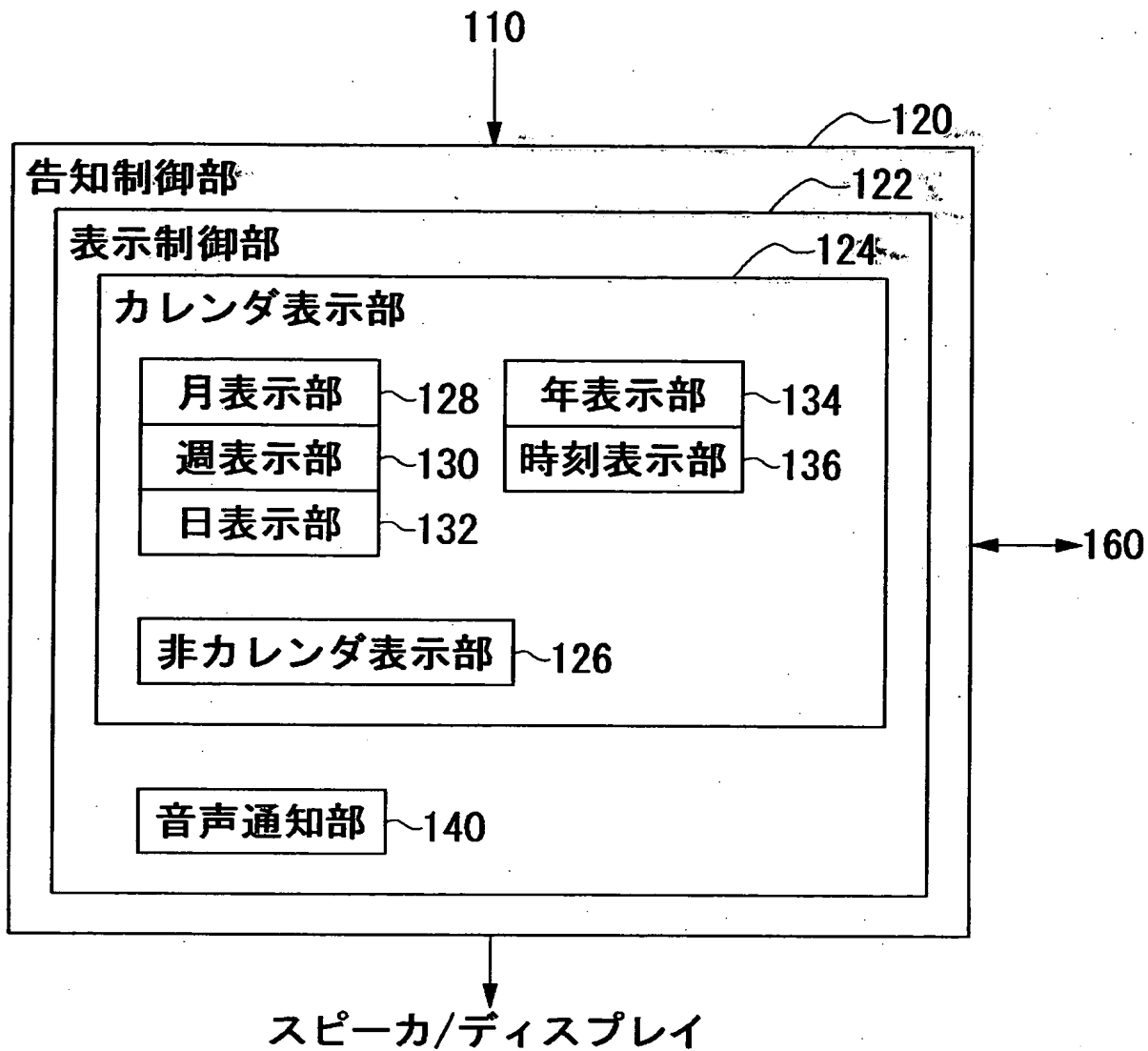
【図 6】



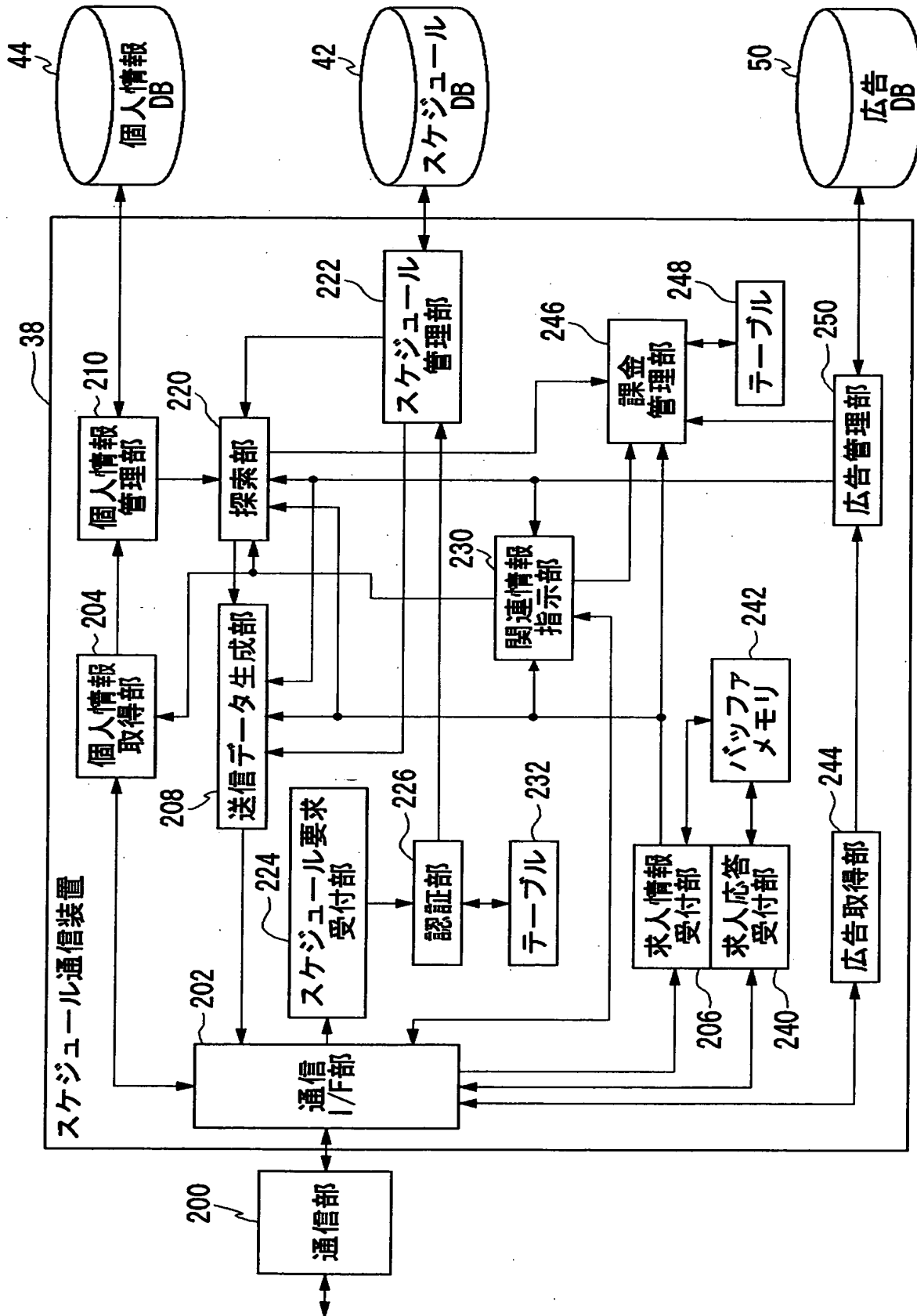
【図 7】



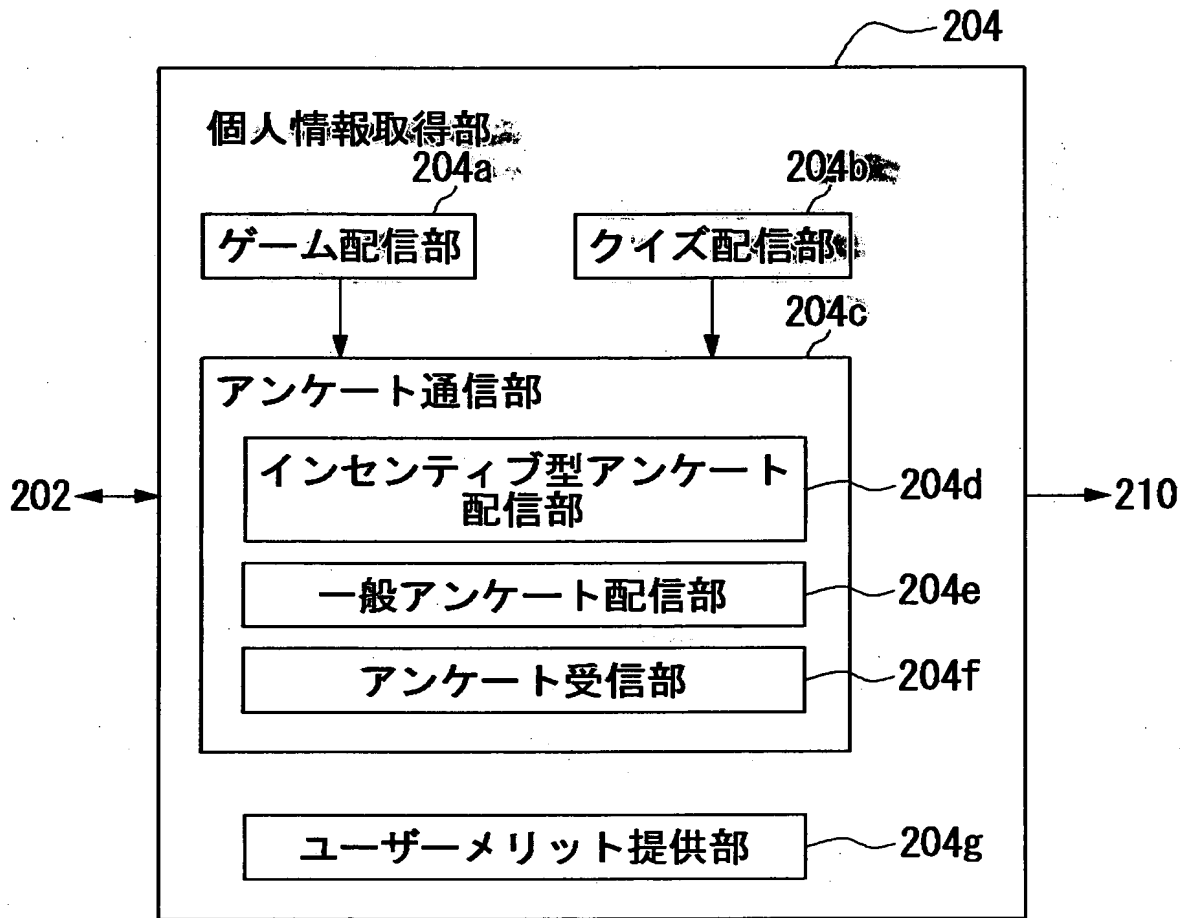
【図8】



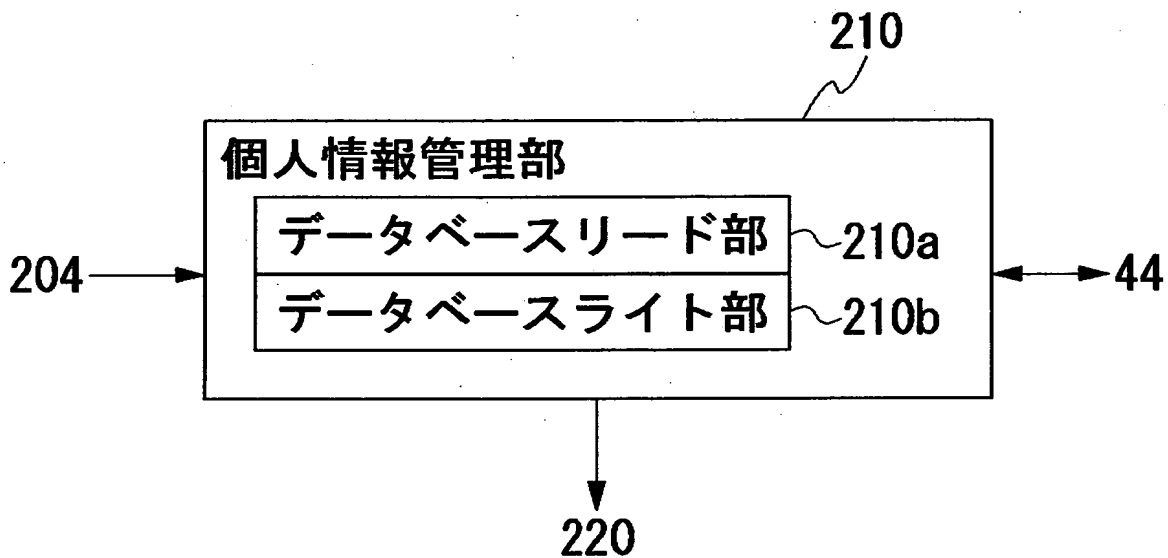
【図9】



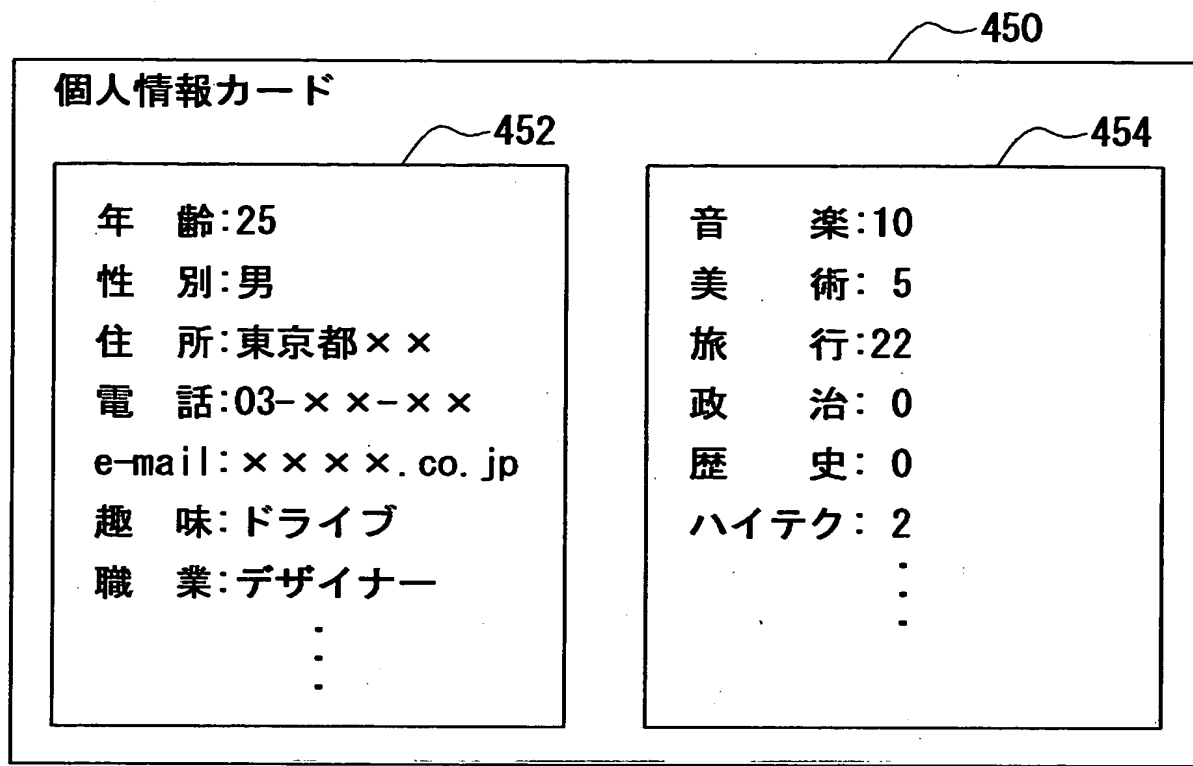
【図 1 0】



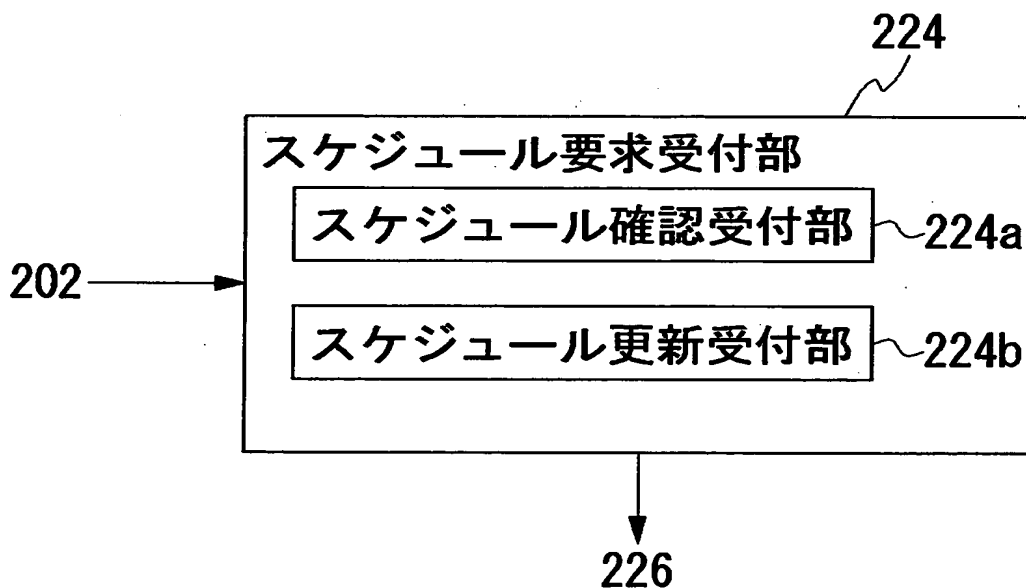
【図 1 1】



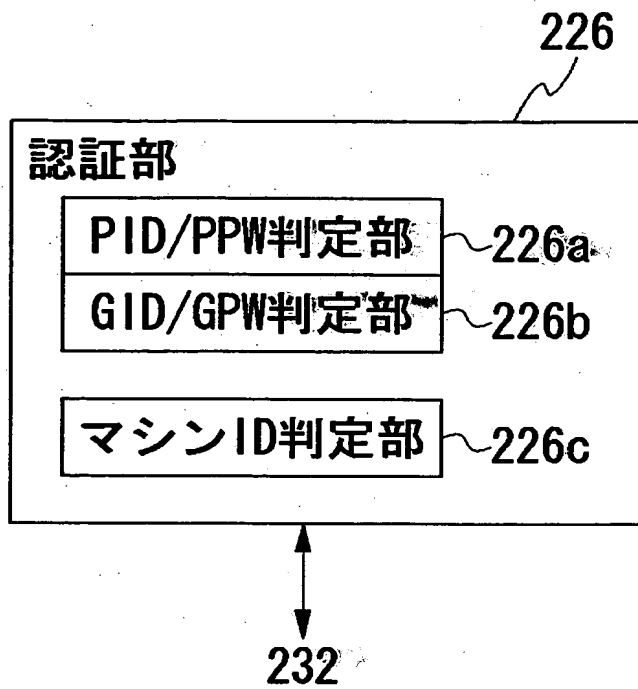
【図 12】



【図 13】



【図 1 4】



【図 15】

460

求人情報

462

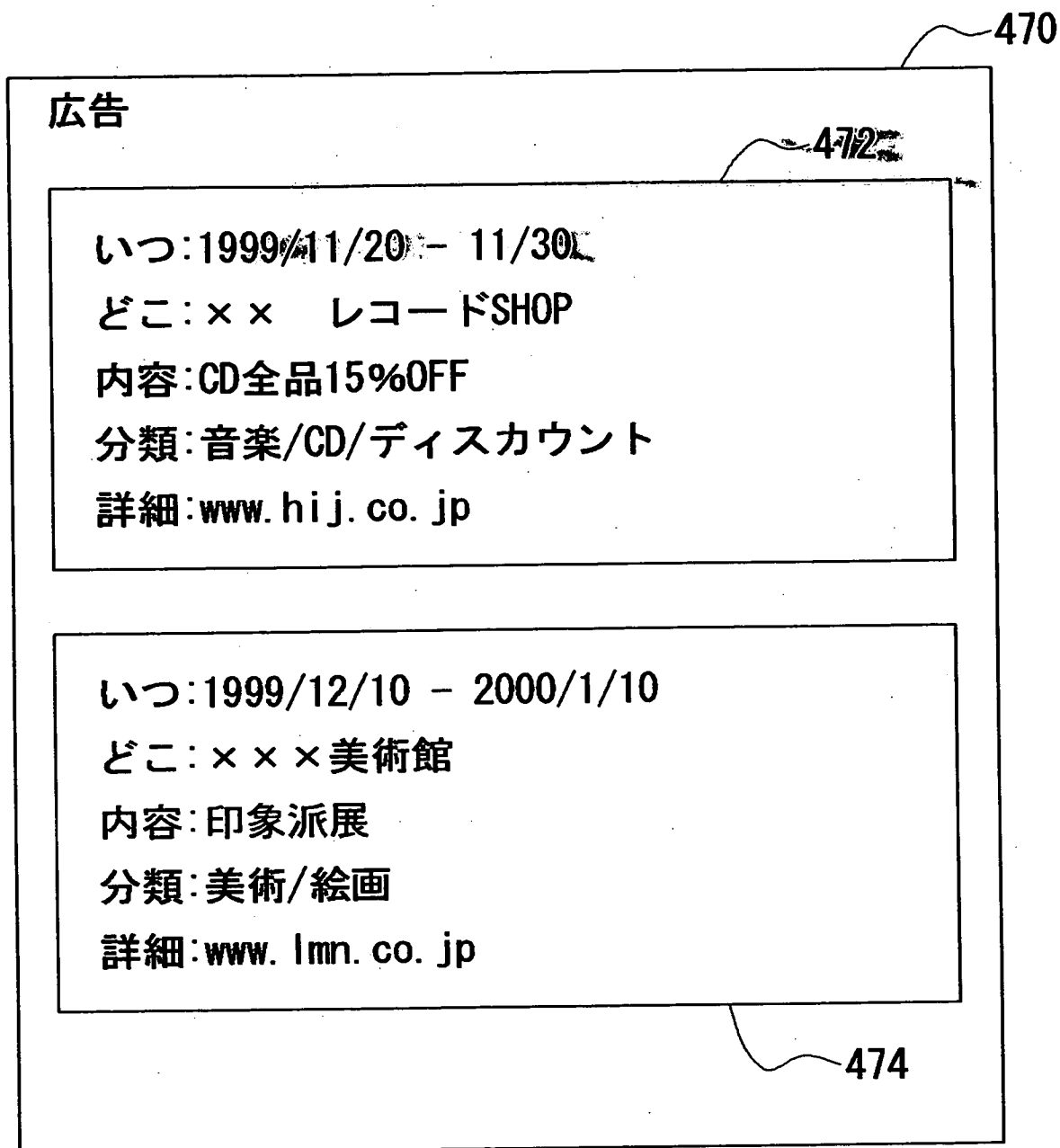
いつ:1999年11月27日 am10~pm1  
どこ:×××  
内容:コンサートチケット購入のための人員  
給与:××××円  
分類:音楽/アルバイト  
詳細:www.abc.co.jp

いつ:1999年12月~  
どこ:横浜市××  
内容:PC設計  
給与:月××万円  
分類:ハイテク/PC/正社員  
詳細:www.def.co.jp

⋮

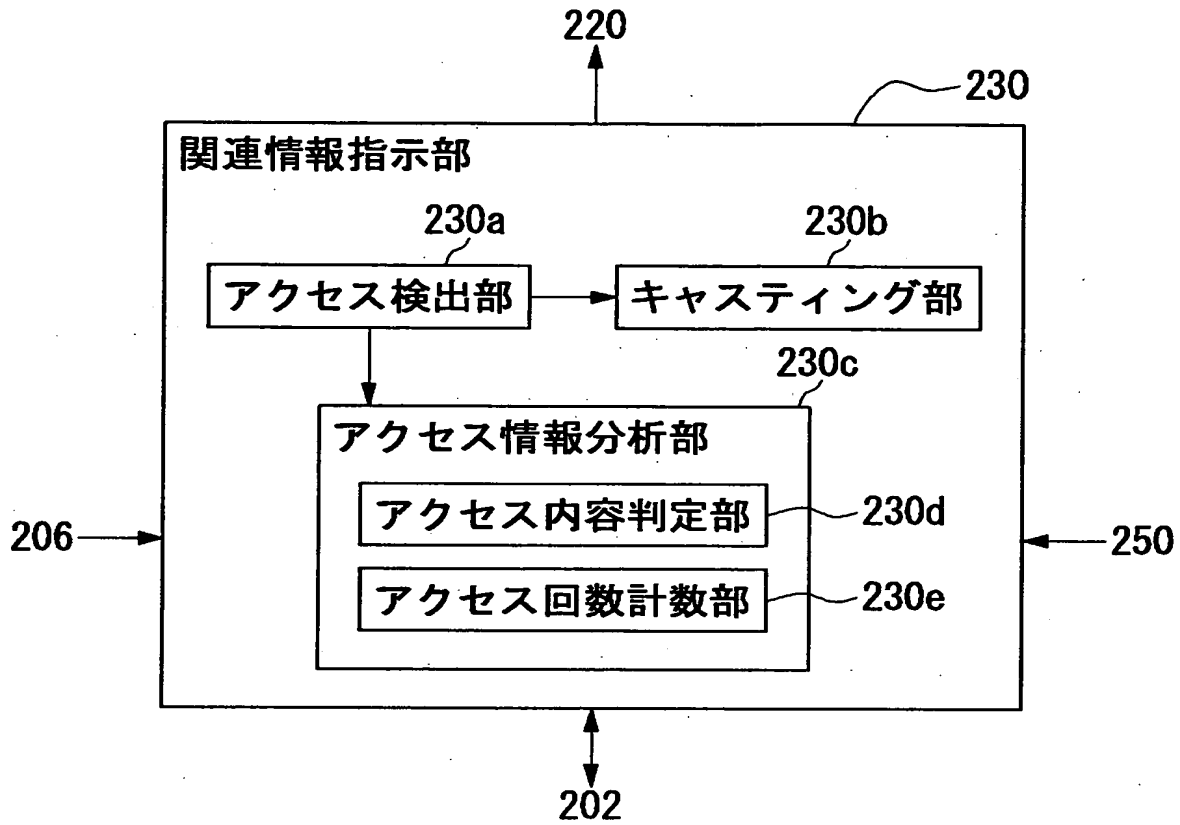
464

【図16】

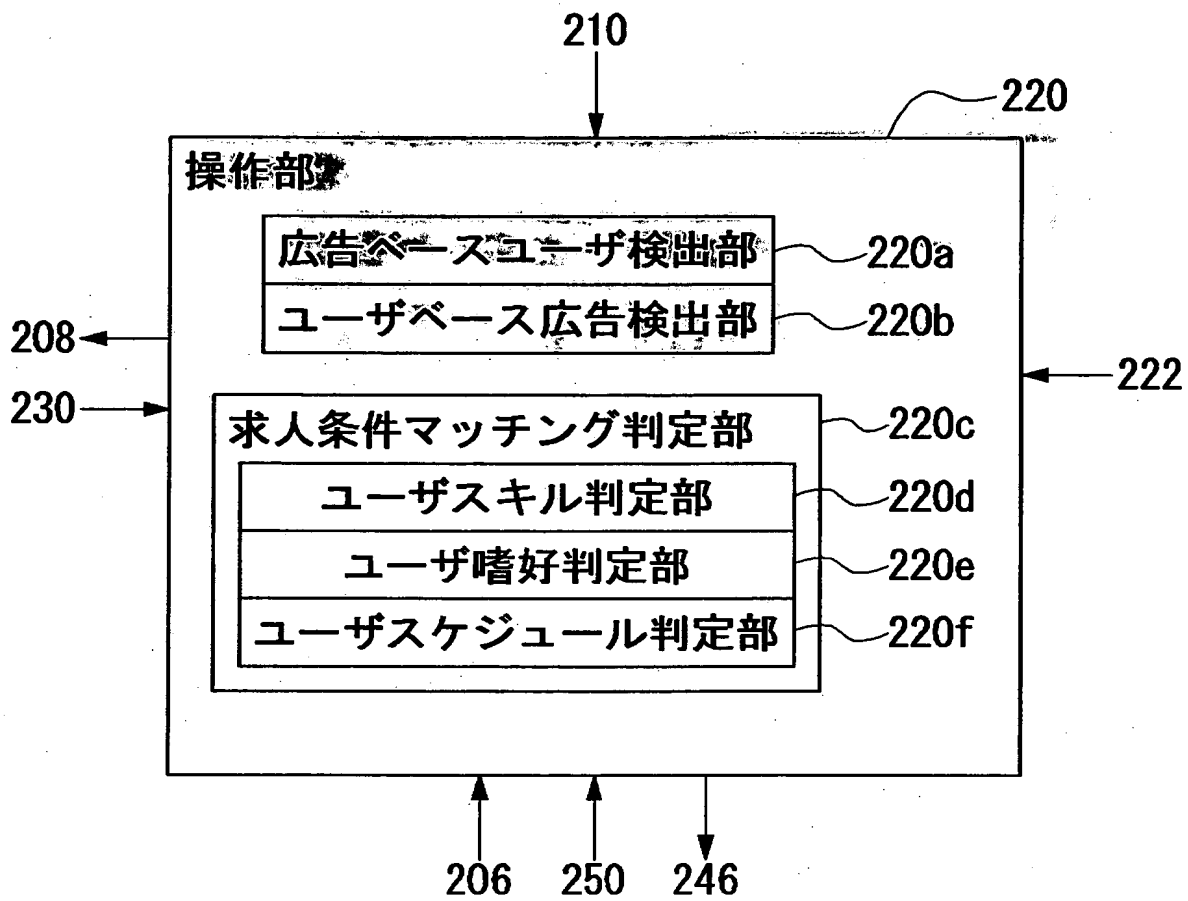




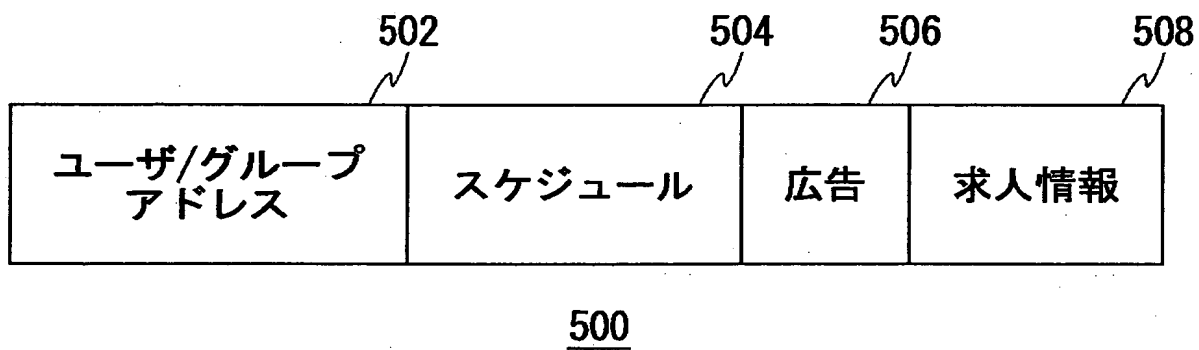
【図 1 7】



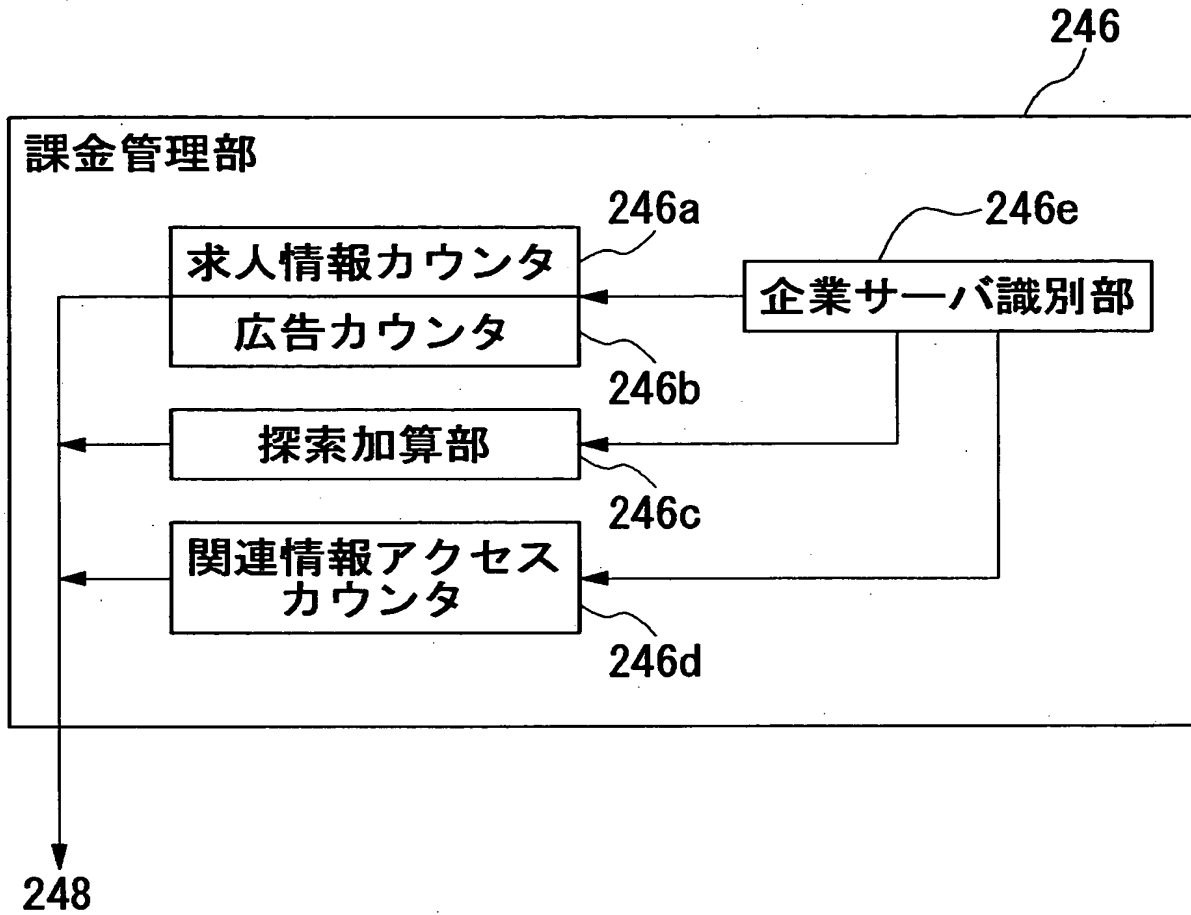
【図 1 8】



【図 1 9】



【図 2 0】



【図 21】

300

<http://www.abcdefg.co.jp>

ID登録
設定
スケジュール

IDとパスワードを入力して下さい

個人

PID=

PPW=

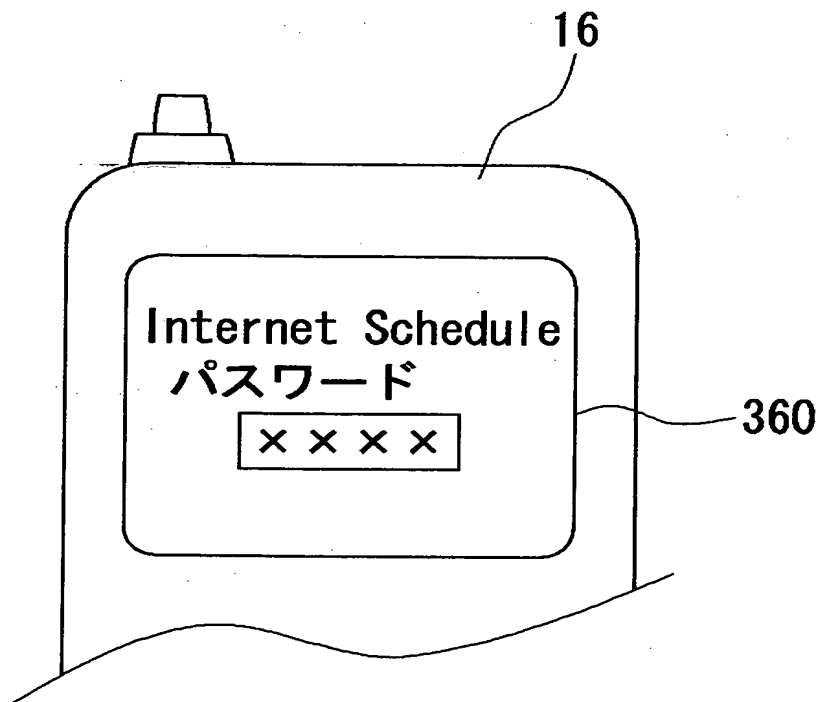
グループ

GID=

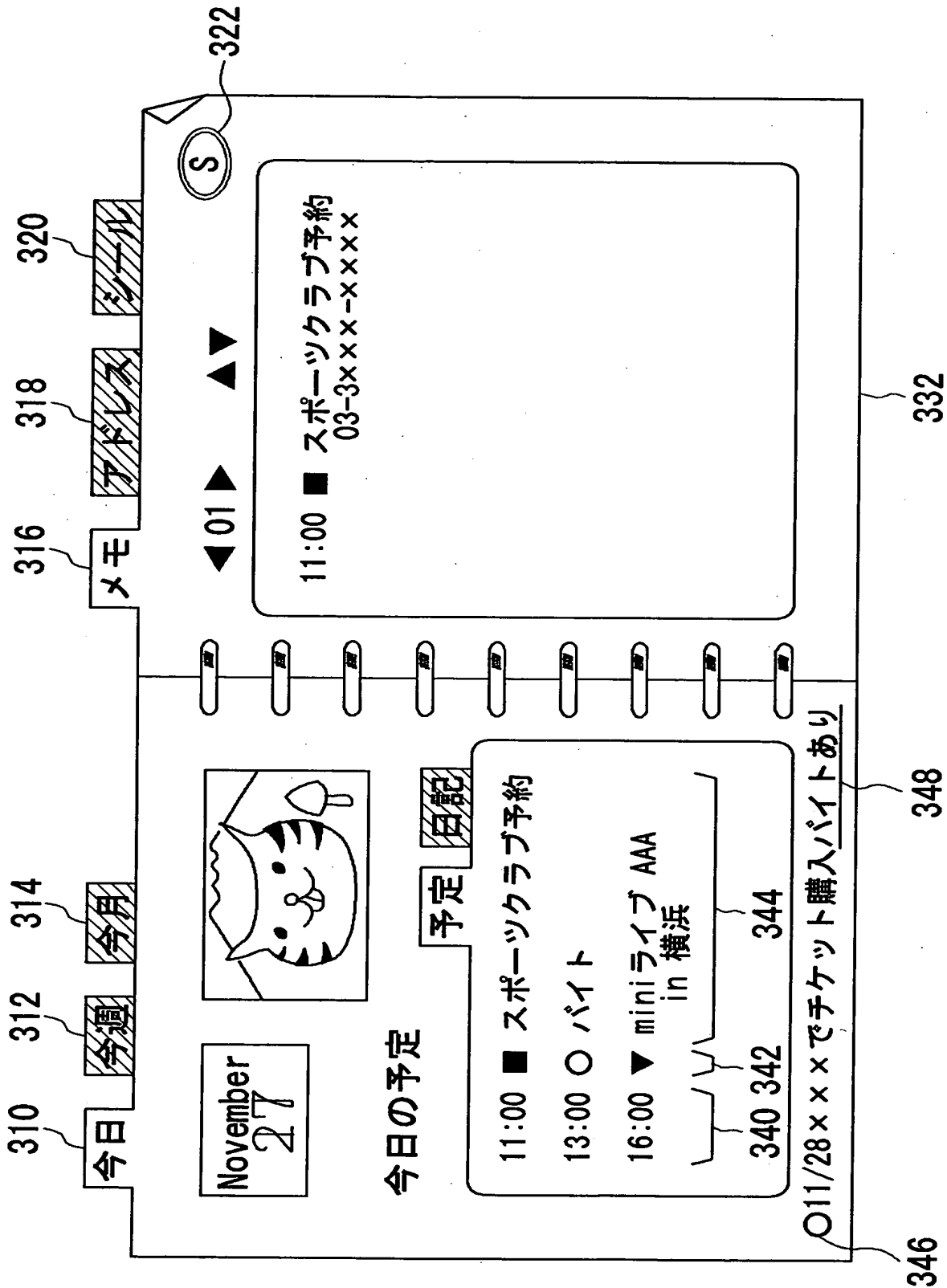
GPW=

302

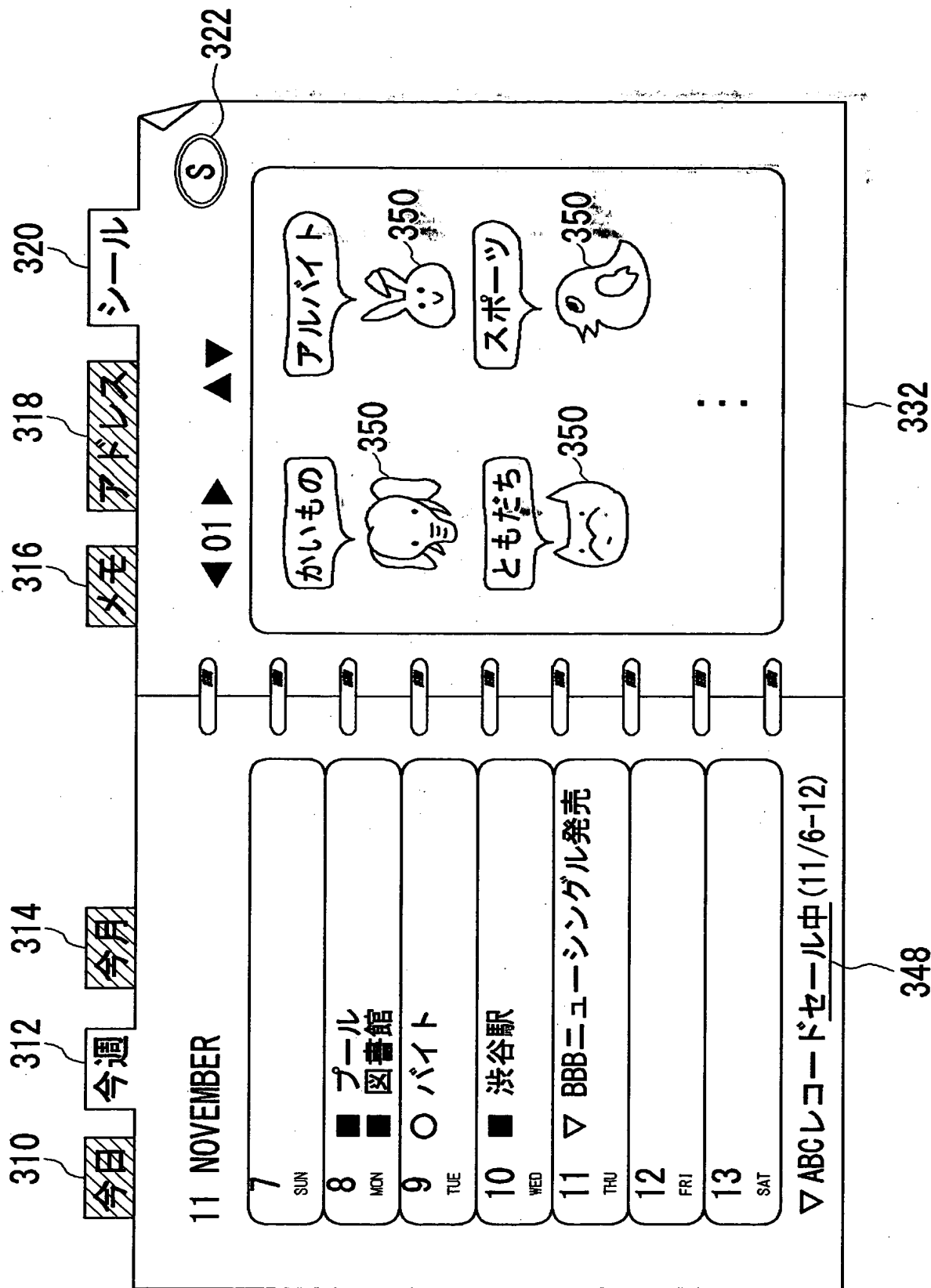
【図 22】



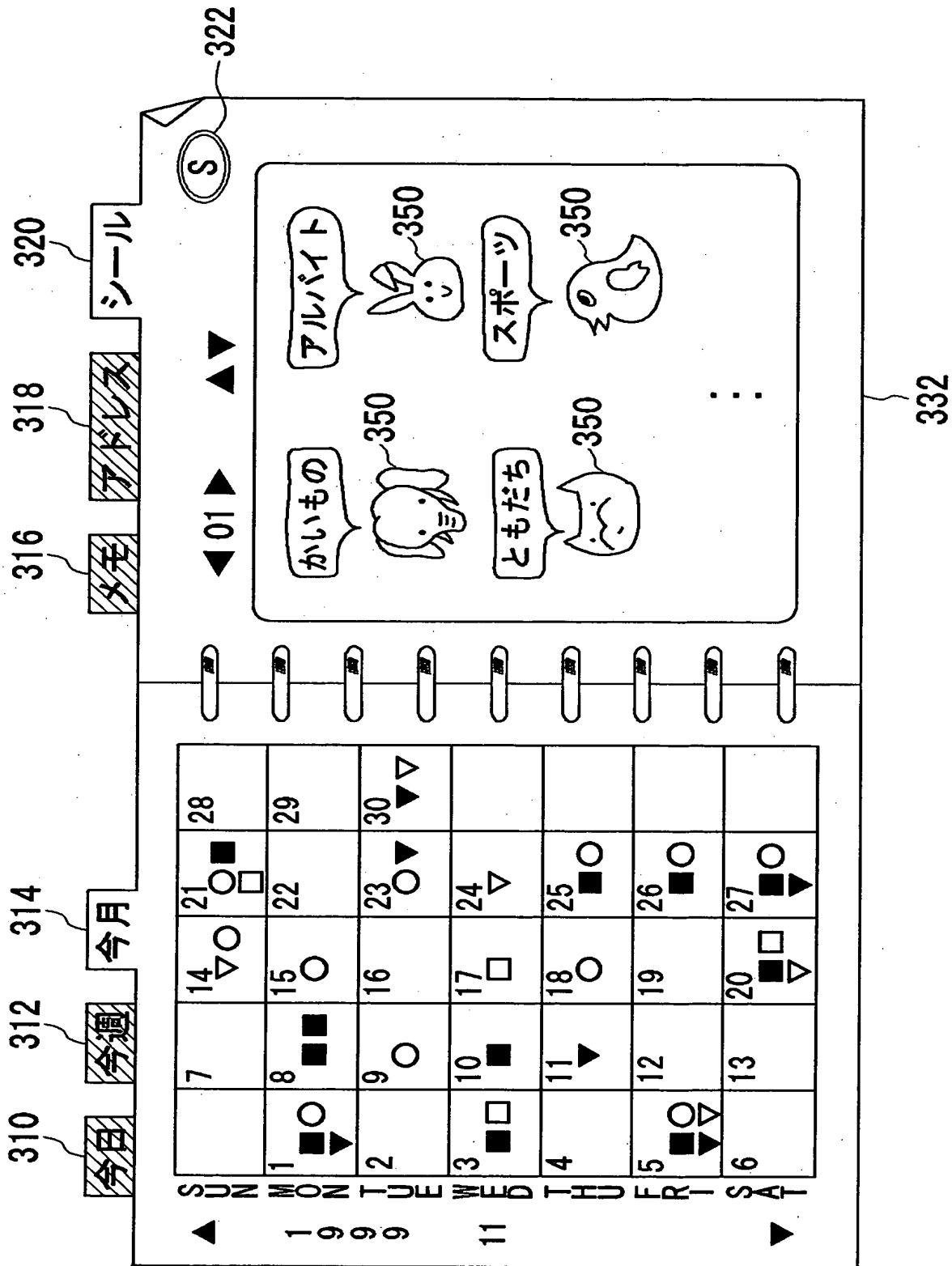
【図 2 3】



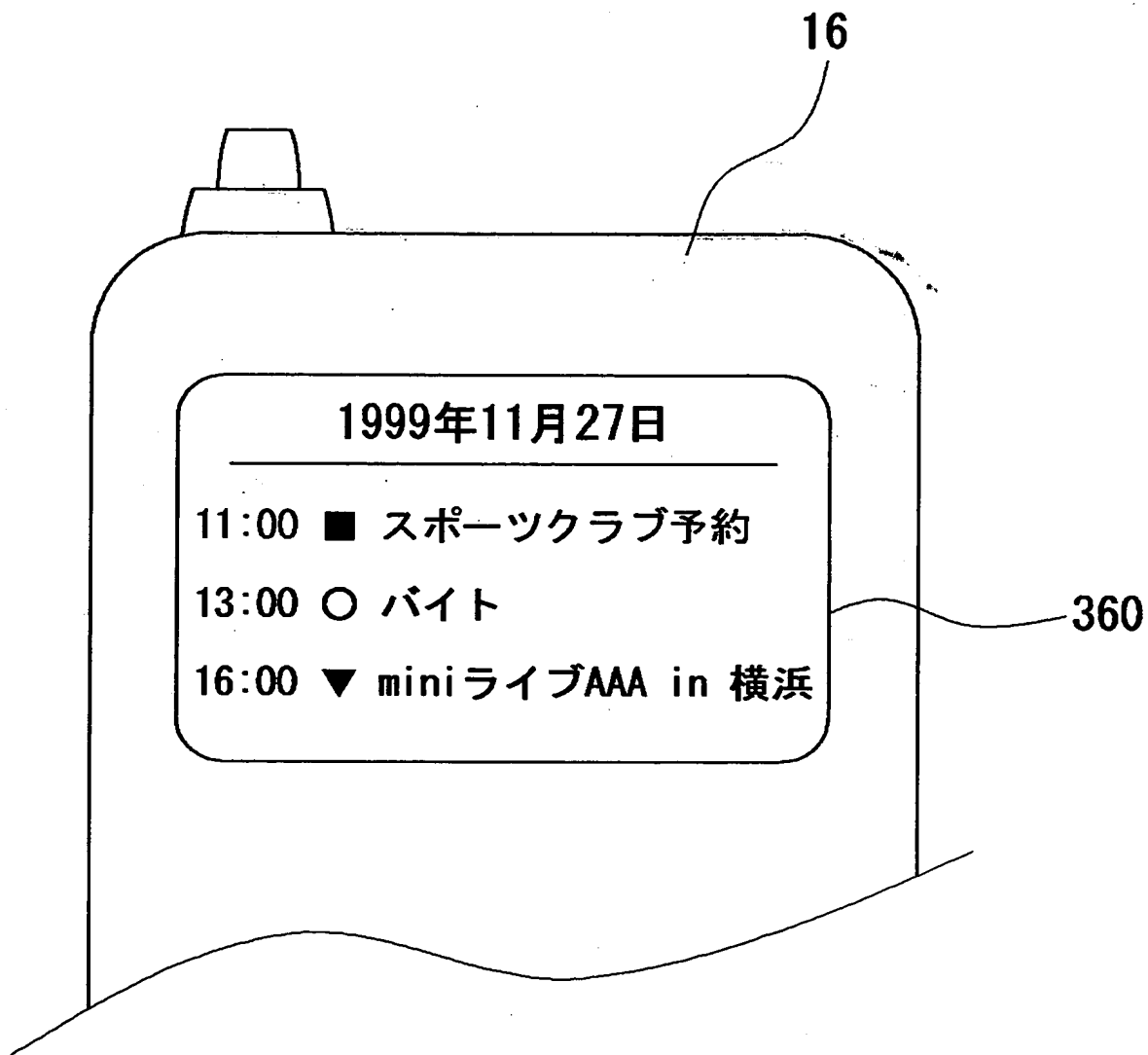
【図24】



【図 2 5】

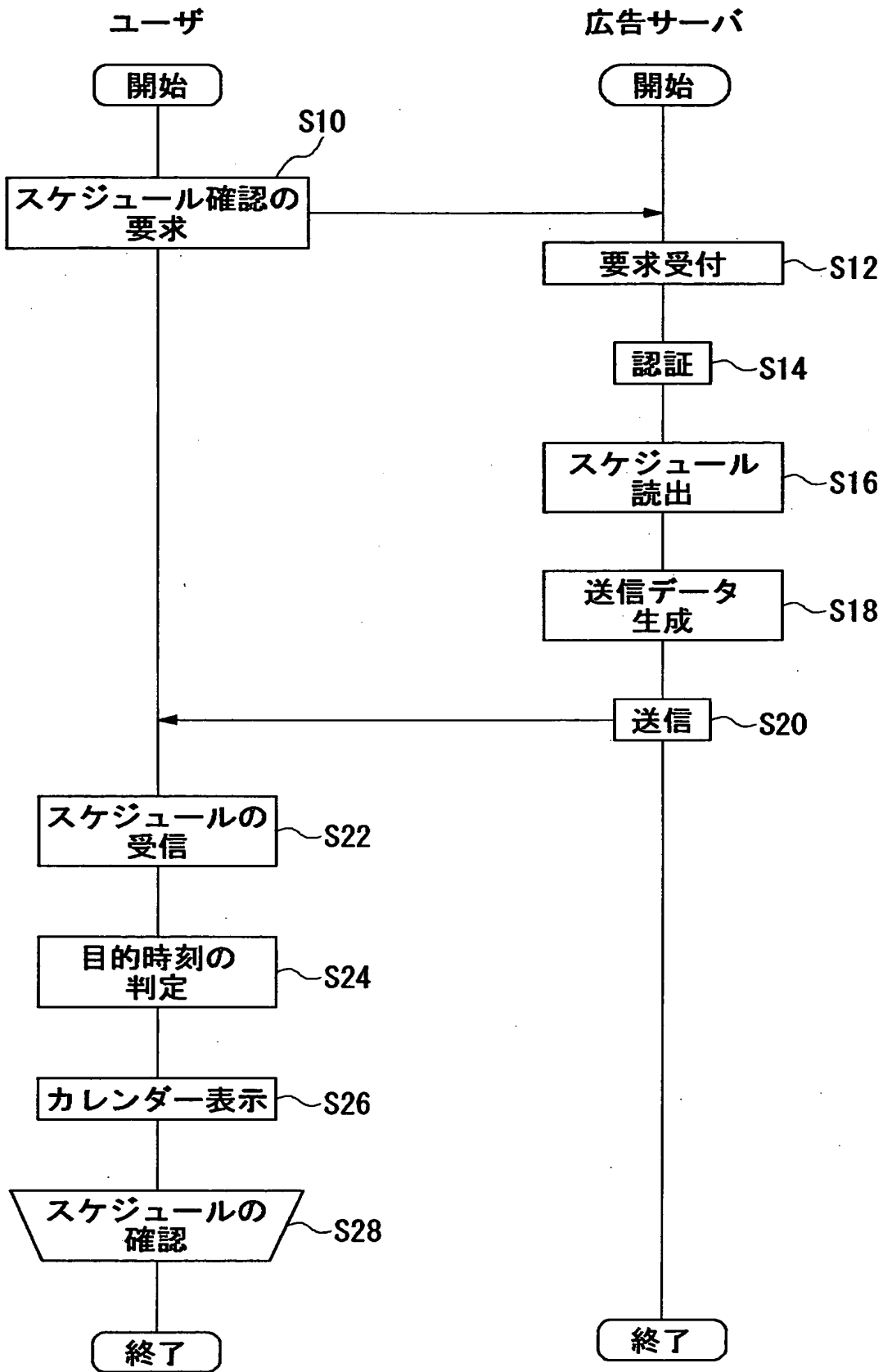


【図26】

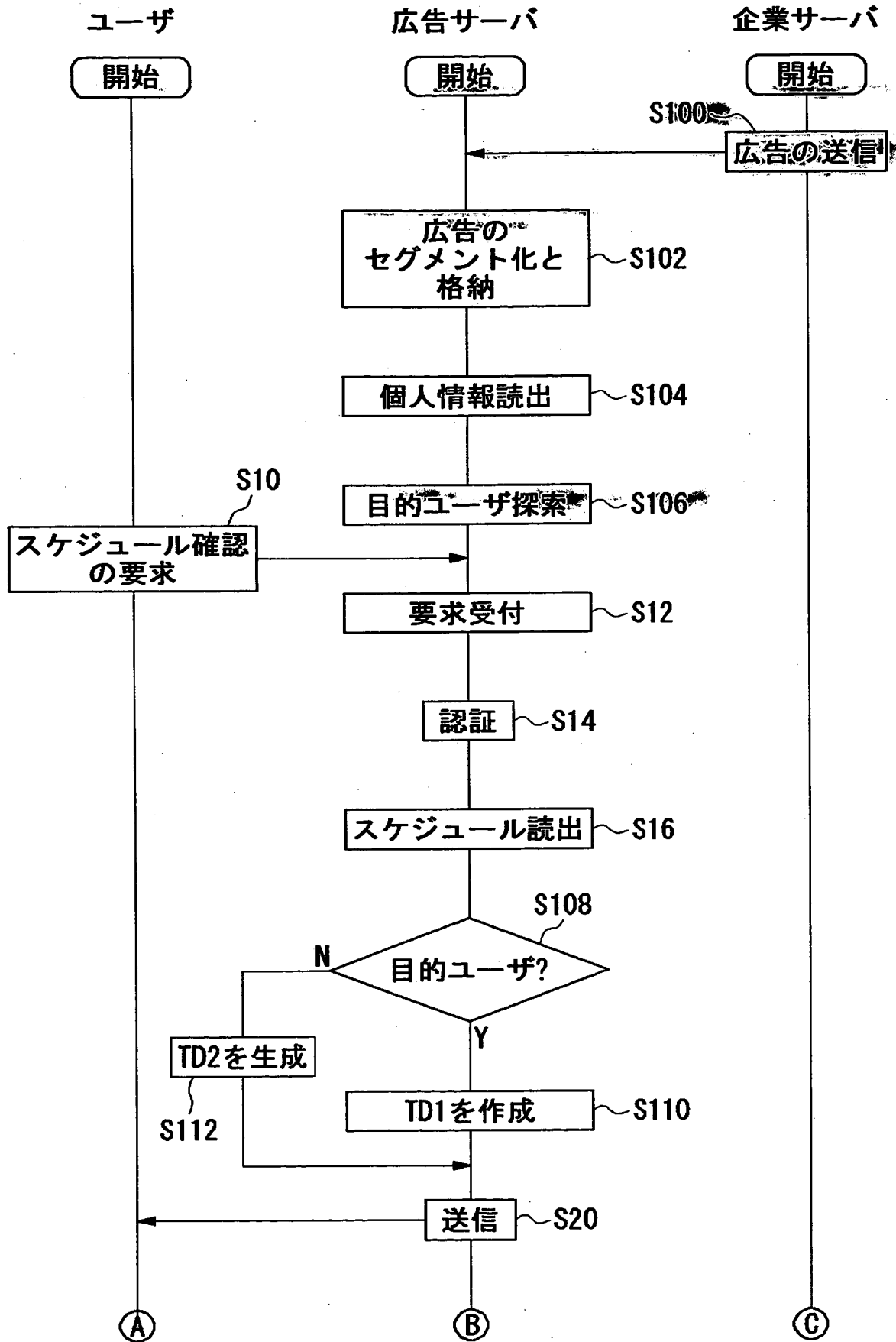




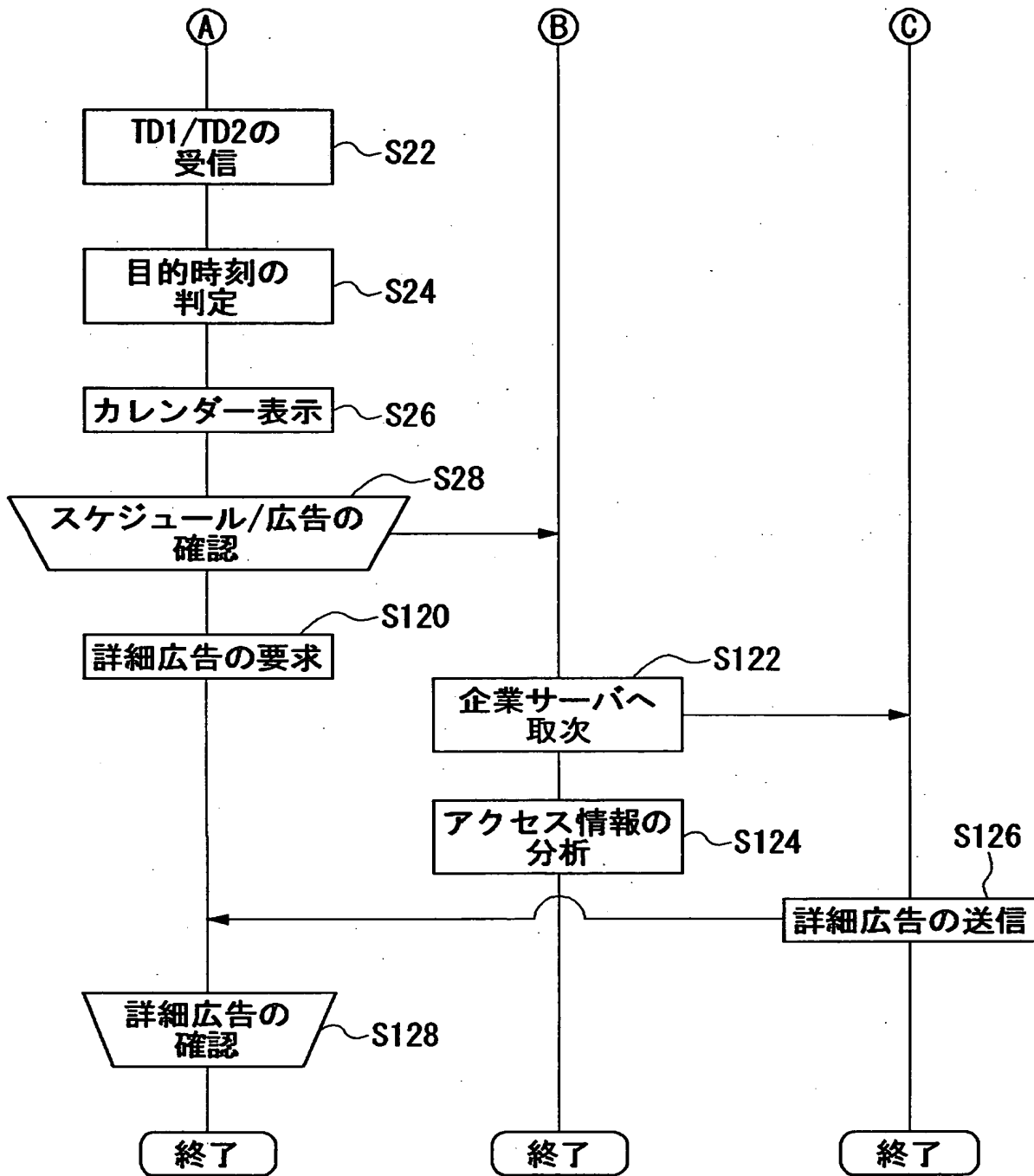
【図 2 7】



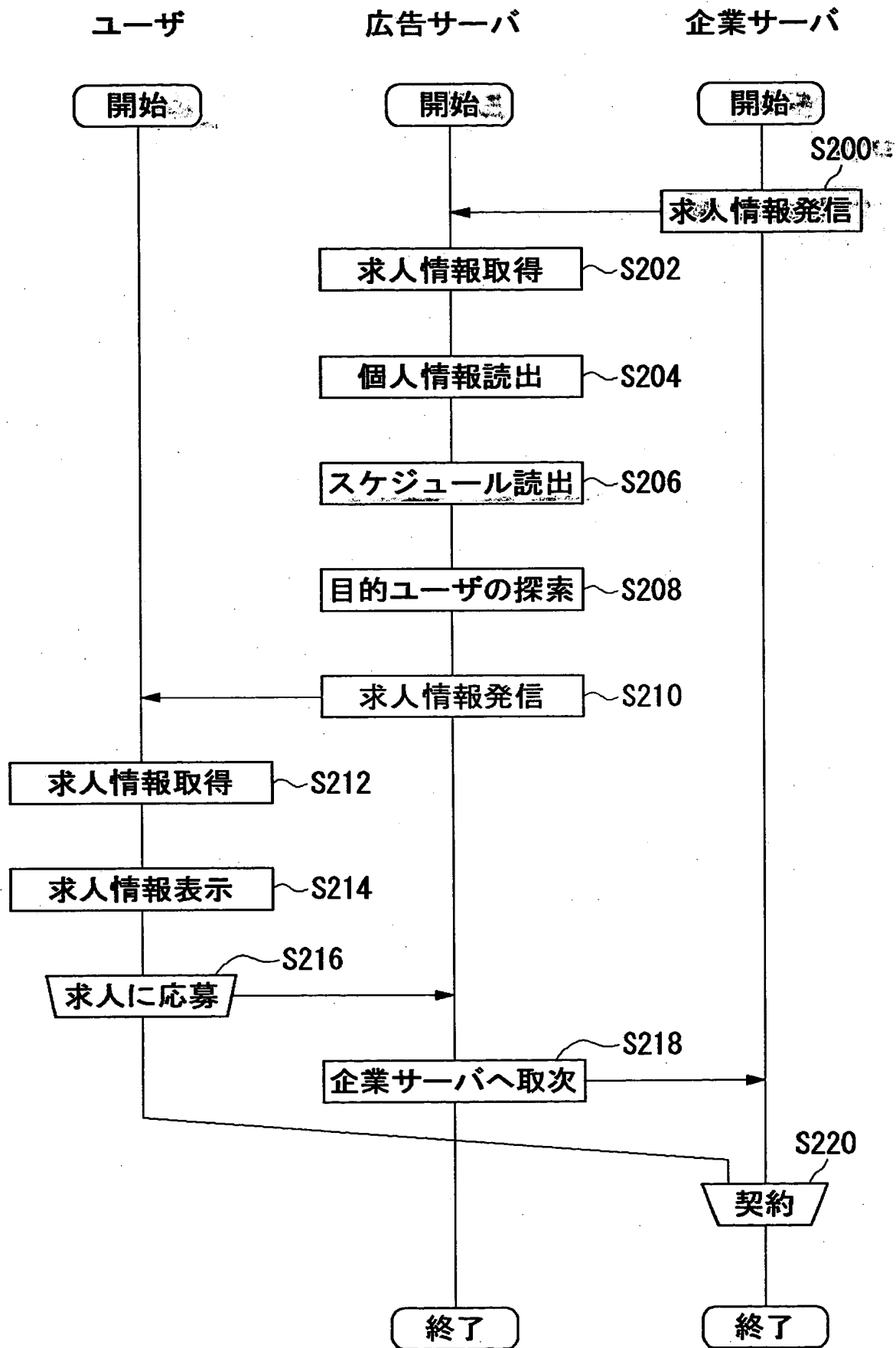
【図 2 8】



【図 29】



【図 3 0】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットを通じて不特定多数のユーザに広告を発信しても、効率的でなかった。

【解決手段】 スケジュール通信システム 1 0 はクライアント側のスケジュール通信装置 1 4 とサーバ側のスケジュール通信装置 3 8 を有する。サーバ側のスケジュール通信装置 3 8 は、ユーザにスケジュールと、ユーザの嗜好に沿う広告を送信する。クライアント側のスケジュール通信装置 1 4 は、スケジュールと広告を受信する。広告はその目的時刻を軸にスケジュールの中に組み込まれた状態でユーザに告知される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [599160158]

1. 変更年月日 1999年11月12日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区麻布十番1丁目7番3号

氏 名 株式会社ビートゥーシー・インタフェイス